

# 四国電友会会報



創刊100号記念誌  
平成9年10月

目次

四国電友会報一〇〇号の発行に当たって	西本寿恵一	1
電友会四国地方本部長		
四国電友会会員の皆様へ	藤原 勝彦	2
N T T 四国支社長		
四国電友会報一〇〇号お祝い挨拶	山内 正彌	3
電友会会長		
生きがいと健康そして安心をモットーに	藤野 統夫	4
テルウェル四国支部長		
一〇〇号記念に寄せて		
電友会愛媛県支部長	西本寿恵一	5
電友会香川県支部長	森川 清和	6
電友会徳島県支部長	賀川 明孝	7
電友会高知県支部長	楠瀬 邦夫	8
N T T 愛媛支店長	門脇 康裕	9
N T T 香川支店長	三又 善博	9
N T T 徳島支店長	三浦 秀利	10
N T T 高知支店長	尾崎 幸博	11
四国友愛会会長	山下 里江	12
全電通退職者の会四国地方協議会会長	国村 輝男	12
電友会発足の前後		
前電友会四国地方本部長	六車 美一	13
人生さまざま・後半生を生きる	窪田 剛介	14
私は今(愛媛・香川・徳島・高知)		
お知らせ(1)(事務局からお願い)		15
お知らせ(2)(愛媛・香川・徳島・高知)		30
サークルだより(愛媛・香川・徳島・高知)		31
健康のページ	N T T 松山病院院長 石戸谷 武	34
ひろば(硬式テニスクラブ)		36
余栄		36

敬弔..... 36

N T T の動き..... 37

マルチメディア時代に向けて..... 37

四国法人営業本部マルチメディア推進室..... 37

N T T 再編成の現状について..... 42

ナンバーディスプレイとナンバードアハウスサービス..... 44

高松地区の市内局番が3桁に..... 44

お知らせ(2)..... 45

俳句・川柳(愛媛・香川・徳島・高知)..... 46

テルウェルだより..... 48

あんしんライン..... 48

OBサークル等今日も元気に活躍..... 48

勝謡会ゆかた会で日頃の成果を発表..... 48

価値ある施設「愛松園」..... 49

価値ある施設「愛松園」..... 49

会報に見るテルウェルの動き..... 49

編集後記..... 50

年譜(四国電友会の歩みと電信電話事業の動き)..... 51

表紙の言葉

栗 長谷川 茂(松山市)

秋晴れの空に栗の実が目についた。  
近づいて見ると、色づいた実が「パクッ」と顔をのぞかせていた。  
はじけた殻、みのりを待つ殻、対照的で微笑ましい。

## 四国電友会報一〇〇号の発行に当たって

電友会四国地方本部長

西 本 寿 恵 一



四国電友会の会報は、昭和四六年の創刊以来、この会報をもって一〇〇号を数えるに至りました。

会報は、会員の心をつなぎ合ふ絆として、会の発展のために多大の役割を果たしてまいりました。

会報の年輪は、まさに会の発展そのものであり、まことに喜ばしい限りであります。

これまでの間、会報の発行に関与されてきた諸先輩に心から敬意を表しますとともに、これをご支援頂いたNTT並びにNTTグループ各社、関係機関の皆様へ深く感謝申し上げます。

今回、この会報一〇〇号の発行に對しましては、NTT四国支社長をはじめ、電友会会長、先輩各位から懇切なお祝詞を頂きました。また、この会報一〇〇号を記念号とすることに、つきましても関係各方面から物心両面にわたるご支援を賜りまして、まことに有難く、厚くお礼申し上げます。

最近、会報の編集につきましては、編集委員会を構成し、より充実した内容を目指して取り組んでまいりました結果、会員の皆様からも大方の好評を得ているところであります。

しかしながら、私どもの母体でありますNTTは、長年の懸案でありました、いわゆる「分離分割問題」に一定の整理がつき、いよいよ平成一年までには新しい経営体制に再編成されることになっており、これに伴う電友会の位置づけ、NTTとの支援・協力関係のあり方など、電友会としても新しいエポックを迎えようとしています。

また、私どもの最大の関心事であります年金問題や医療費の

動向は、年を追うごとに厳しくなってきたり、六五才未満の人口が逆転するという歴史的な状況のもとで、年金、医療、介護等、社会保障構造の抜本的な改革が行われようとしています。医療費は、既にこの九月から引き上げられました。更にどのような理由や形で負担増となるのか、年金については、現行のスライド制を含めた給付水準が維持できるのか等、これらのことが、私どもにとって、当面最大のテーマになることは間違いないありません。

このような情勢のもと、電友会の活動も新しい方向づけが必要でありますし、それとともに会報の役割は一層重く大きくなるものと考えられます。

今後とも、会報が、NTT並びにNTTグループの動きや、会員の福祉をめぐる動き、電友会の活動状況や会員の消息等を適時・的確にとらえ、会員の心の糧としての役割を果たすことができるよう念願して止みません。

この会報一〇〇号特集号は、編集委員会のご努力により、記念誌にふさわしい内容になりました。これをステップとして、一層充実した会報を発行し続けたいものであります。

最後に、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念して、ごあいさつと致します。



## 四国電友会会員の皆様へ

N T T 四国支社長

藤原勝彦



電友会の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃からN T Tと地域社会の接点になっていただき、また弊社の事業運営に対し、ご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

また、今回の四国電友会会報の発行が創刊以来二五年の歳月を経て一〇〇号の記念号となりますこと、心からお祝い申し上げます。心から敬意を表したいと思います。

さて、N T Tを取り巻く企業環境は、皆様もご存知のとおりであり、ネットワークのオープン化が急速に進む中、N C Cとのし烈な競争も、長距離通話から市内通話の領域にまで拡大します。また、その厳しさを増しております。さらに、電友会の皆様にもご努力いただきましたN T T経営形態も、二年後には、純粹株式会社のもとに東西二つの地域会社と長距離会社に再編成が行われます。

このような中、私どもは二つの目標軸を掲げております。一つは「黒字化」であります。四国支社の収支は毎年着実に改善されてはいるものの、非常に厳しい状況にあります。

これを達成するために、この黒字化という明確な目標をキツチリ計画に折り込んで、着実にそれを実施していくことが大事であると考えております。中味的には、徹底したコストダウンを実行する一方で、収入の大宗を占める通話シェアの奪還・維持を図ると同時に、新しいマルチメディア収入のパイの拡大を図っていくことでもあります。

二つ目は「マルチメディア化」です。

一つ目の「黒字化」と関連しますが、これからは、電話収入は競争の激化するなか拡大は望めません。「マルチメディア化」を全面的に推進することにより、マルチメディア化事業のパイの拡大を図り、健全な財務基盤を確保していくことが必要であります。

したがって、人の配置、人材の育成、商売の中味、仕事のやり方等全てを、マルチメディア時代に即応できる体制に変えていくことが、私たちの当面する一番大きな課題であります。将来四国が伸びていくためには、この課題を克服して、マルチメディアのシステムを、お客様のニーズに即応して自在に提供出来る体制を作り上げていかねばなりません。

このような状況をふまえ、私もN T T四国の社員の先頭に立ち、二つ目の目標軸の達成を目指して全力を傾注してまいり存であります。

さて、四国におけるデジタル化も、八月二六日の小松島交換所におけるデジタル交換機への切替えて、デジタル化一〇〇%を達成し、四国の全ての地域で「ボイスワープ」や「I N S ネット64の同番移行」など多彩なサービスが利用していたけるようになりました。

一方、マルチメディアの主力商品の一つであります「I N S ネット64」の販売も好調で、昨年と比べますと約三・五倍程度アップしており、マルチメディアに対する認識が高まっているところでもあります。また、インターネット通信用「O C N サービス」も、今年度からサービス開始となり、順調な拡大を続けております。電友会の皆様も、是非「I N S ネット64」あるいは「O C N サービス」をご利用いただき、マルチメディアの素晴らしさを体験していただきたいと思っております。

現在、県庁所在地のO Bサロンにはパソコンを設置し、インターネットが体験出来るような環境を作っております。是非お立ち寄りいただき利用して欲しいと思っております。

さらにもう一つお知らせしたいニュースがあります。  
(一ニ二ページへ続く)

## 四国電友会報一〇〇号・お祝い挨拶



電友会会長 山内正彌

四国電友会会報の一〇〇号発行を、心からお慶び申し上げます。

昭和四十六年の第一号発行以来、年四回の発行を二六年間の長期にわたって着実に継続してきた四国電友会の関係の皆様が、この会報により大きな生きがいを受受してきた多数の会員の皆様、美しい調和をかもしだしていることに深く敬意を表します。

さて、電友会という全国組織が出来ましてからは八年目に入っております。(平成二年四月発足、平成二年七月に電友会四国連合会会報第七号が発行されています)

当初六万五千人だった会員が、平成九年三月末には八万七千三〇〇人と組織拡大が順調に進んでおります。

一方、電友会を取り巻く環境も大きく変化しようとしております。

先ず第一は、NTT再編成法案が六月一三日、成立したことです。

いよいよ新しい持株会社組織への再編がスタートし、国際化とマルチメディア化に向かって大きく動き出します。

このNTTの再編に合わせて、電友会の組織も見直すことが必要となります。この根幹をなすものは、会員相互の親睦、交歓活動に加えて、生きがいの創造や社会(NTTの事業)の発展への貢献に積極的に参加できる体制とすることです。

今後、会員の皆様のご意見を十分に反映していきたいと考えています。

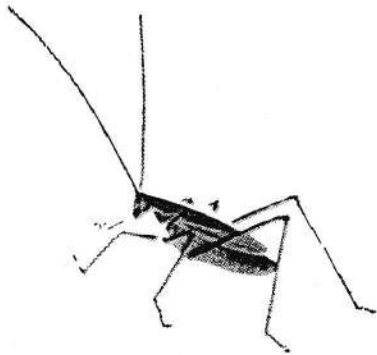
第二番目は、日本、更に世界の先進国全体が、大きく高齢化社会に入っていくことです。

六月にデンバーで行われた先進八カ国サミットにおいても、共同声明の初めに、人口高齢化による機会及び課題の章を設け「活力ある高齢化」の推進に向けて、各国が協力して努力することをうたっておりますが、その最前線に立つ日本の行動は、極めて重大であります。

我々NTT・OBも、情報通信の先駆者であった誇りを、今後とも持ち続ける一方、新しい活力ある生き方を創って行く必要があります。

その一環として、私達OBがマルチメディアの利用者として、また、普及の先導役となれるような施策を、NTT現役の方々とともに進めていけるようにしたいと考えています。

最後に、四国電友会会報がますます充実されて、会員の生きがいに一層貢献出来るものとなることを、祈願いたしております。



皆様の「生きがいと健康・  
そして安心」をモットーにして

テルウェル四国支部長

藤野 統夫



四国電友会会報が、一〇〇号という大きな節目を迎えられたことについて、心からお祝いとお喜びを申しあげます。また、日頃は、電友会の皆様からテルウェル事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私自身にとりまして四国は、NTT時代に、松山に二年、徳島で三年、仕事をさせて頂き、数々の思い出もあり、今まで第二の故郷と思いつつ過ごしてまいりました。

この七月に、テルウェル四国支部長として三度目の四国勤務となりましたが、愛しい故郷へ帰ったような気持ちで参っており、四国の電友会へも先般入会させて頂き、皆様の仲間入りさせて頂いておきますので、宜しくお願い申し上げます。

テルウェルにおきましては、種々の事業を実施させて頂いておりますが、NTT・OBの皆様の「生きがいと健康、そして安心」をモットーにかかげ、OB大学、文化講演会、OBサークル活動、ボランティアグループ活動の援助などの生きがい推進事業、生活相談などの生活援助事業、更にショートステイ「テルウェル愛松園」の運営などの社会貢献事業にも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

六月一三日には、「NTT法改正案」が成立し、二年後の平成一一年七月には、NTTが再編成されることになりました。これに伴い、テルウェルにも色々な影響が及ぶものと思われま

すが、テルウェル設立の原点に立ち、「電気通信の発展と生涯福祉に貢献する事業体」を基本理念とし、これまで以上に、役員一丸となってサービス品質を図りつつ、経営体質の改善・効率的運営・計画目標達成に向け努力する所存です。最後にになりましたが、四国電友会の益々のご発展と会員の皆様のご健康と、ご多幸を心よりお祈り致します。



## 100周年記念号

電友会愛媛県支部長 西 本 寿恵一  
 四国電友会会報一〇〇号発行、まことにめでとうござい  
 す。この機会に会報の発行に至るいきさつなどを調べましたと  
 ころ、次のようなことが判りました。

愛媛電友会は、昭和三十七年一〇月二三日（電信電話記念日、  
 電電ビル落成式の日、玄関南側電車通りに夏目漱石ゆかりの記  
 念碑建立の日）に結成され、翌三十八年の五月に「愛媛電友会会  
 報」が創刊されています。

創刊号は、今は懐かしい「ガリ版」刷りで四ページ。内容は  
 初代会長の小崎政臣さんのあいさつと、当時の愛媛通信部長泉  
 節太郎さんの祝詞、そして会の結成にまつわるエピソード等々  
 飾られています。

以来、歴代編集子のご苦勞により、昭和四十六年一月発行の一  
 三号をもって、「以後は、四国電友会会報に引き継ぐ」とされ、  
 今日に及んでいるものであります。

四国電友会会報の起源が愛媛の会報にあったことを知り、改  
 めて感慨を深く致しました。

会報発行関係者のご苦勞を偲び、深く感謝致しますとともに、  
 会報の一層の充実発展を祈念する次第です。

また、昭和五一年九月に作成された「愛媛電友会年譜」に残  
 されている愛媛電友会の結成趣意書には、「この度、日本電信  
 電話公社発足一〇周年に当たり、公社から電信電話週間の行事  
 として、我々退職者との懇親会を開催するとのご招待がありま  
 した。我々が殆どの生涯を捧げてきた懐かしい電電公社や電信  
 電話事業について、語り合うことは、意義深く楽しいことの  
 つであらうと思います。この公社からのご招待を機として、退  
 職者の会を組織し、退職者という寂しい気持ちを捨てて、明る  
 い希望を抱き、今後より一層公社とのつながりを固くして、電  
 信電話事業の発展に協力すると共に、お互いの親睦融和を厚く  
 し、また、今後退職される方々をこころよくお迎えしたいと思  
 います」とあり、先輩方の電信電話事業に対する思いといった  
 ものを強く感じることができました。

私どもは、この諸先輩の意思を受け継いで、会の発展に一層  
 尽力して行きたいものであります。

## 【愛媛電友会の当面の取組】

## ○会員増大施策

現在、愛媛県のOB数は凡そ二八〇〇名（男性一九〇〇名、  
 女性九〇〇名）。この内、会員数は一六八〇名（組織率六〇％）  
 です。女性会員が二五五名（組織率二八％）ですので、組織率  
 を高くするためには、女性会員の増強が不可欠です。

未加入の方々には、繰り返しお手紙を差し上げて、加入をお  
 勧めしているところですが、本年度は、役員の方々にお願  
 して、個別に入会を勧誘しております。

会員の皆様も、未加入の方をご存じでしたら、是非、電友会  
 への加入を、お勧め下さいますようお願い致します。

## ○マルチメディア普及施策

これからの時代を考えますと、高齢化社会を生きるすべとし  
 て、多かれ少なかれ、マルチメディアの恩恵なしに生活するこ  
 とは難しいのではないかと考えたりしますが、こうしたおり、  
 NTT四国支社のご配慮により、OBサロンと事務局にパソコ  
 ンを設置して頂くことになりました。パソコンは、既にOCN  
 へのダイヤルアクセスが可能となっております。

そこで、当会としましては、会員にマルチメディアの知識を  
 広めることを目的として、マルチメディア普及計画を立て、先  
 ず核となる指導者の育成に取り組みことにしました。

会員の中から六名程度人選して、インターネットへのアクセ  
 ス、メール、ゲーム等マルチメディアの講師ができるレベルに  
 まで勉強して頂くことを考えています。

そしてこの人達による講習会を実施することとし、来年二月  
 と三月に、会員の中から希望者を募り、パソコン学習に参加し  
 て頂くことを考えています。

別途、改めて周知しますので、是非この機会に参加されま  
 すよう、お勧め致します。

## 100部誌念誌刊



電友会香川県支部長 森 川 清 和

百は世紀の一単位であり歴史の単位とも考えられます。いずれも長い歲月ということでありましようが、それだけに大変な重さを感じるわけです。この重みの中身は単に結果がどうだということだけではなく、そこへ到達するまでの長いプロセスがあって、そこに本当の重みが秘められているに違いがないと思うからです。

今回、四国電友会の会報が一〇〇号の記念誌を発行されるに至りましたことは、私達会員自身の喜びもさることながら、長年苦業を共にしてきた妻連家族にとっても、数多くの思い出と共に、格別の思いがあるに違いないと思うのです。

私達の会報には、他の情報誌ではとうてい目にすることの出来ない先輩、同僚、友人達の動向が感じ取れるし、今も自分達と同じ視線で行動されている向きには、なんの抵抗もなく素直に共鳴できるのです。会報を手にした時には、多くの先輩、友人から一度に懐かしい便りが飛び込んで来たような感觸を味合わせてもらっていますし、孤独、ストレスの解消はもろろんのこと、元気を引き出す起爆剤として反復愛読させてもらっています。また、私達OBは、全ての方々が夢多き青春時代から三〇年、四〇年と電電の職場で喜びや悲しみの人生を歩んできた者ばかりの筈です。いささか極論過ぎるかもしれませんが、仮に惚け現象になったとしても、電電の記憶を消し去ることは無理ではないでしょうか。ですから、会報に掲載されるN.T.Tの動向には、貧欲なまで敏感に反応しているのです。N.T.Tを愛する気持ち、限りなく発展し続けて欲しいと願う気持ちは当然なこと、自分達の歩んできた足跡が消されることなく、残され続けて欲しいとの願いも極自然な願望であろうかと思うのです。

今回の一〇〇号を一つの節目とし、これからも伝統と持ち味を大切にしながら、流れにそった変化を取り入れつつ、私達に友情の輪と活気を与え続けてくれる会報として、益々充実させ

て欲しいと願う次第です。

## 受付係(下足番)が香川支部総会の主役

香川支部の総会は、参加人員などの関係から、高松市玉藻城内にある披雲閣での開催が通例となっています。この披雲閣は、玉藻公園の美しい庭園に囲まれた歴史ある建物(木造)であるため、履物の持ち込みは当然のことながら禁止されています。このため、四〇〇名近くの履物の整理にはいつも頭を悩ましており、例年あれこれと工夫が凝らされてきました。総会前の役員会ではもちろんのこと、総会後の反省会においても、かなりの時間を費やす課題となっていました。これは過去何回か、紛失や他人のものとの履き違いなどの事例が発生したからです。例え一人位といっても、折角気持ち良く総会に参加してくれていたのに、最後に履物が―ということでは一転して不愉快な気持ちになり、本人はもとより、世話をした人達にとっても好ましくありません。そんなわけで、ここ数年、あの手この手と方法を考え実行に移してきましたが、今年は更に番号札の改善、番号配列方法の工夫、総会終了後の出口付近での混雑、アルコールの入り具合等も考慮に入れた導線の調整、個人が勝手に取り出すことのないよう等々、細かなマニュアルともいえるべきものを採り入れるとともに、世話をする役員達も入口から出口まで、参加者全員が、年一回の再会を、気分良く爽やかな気持ちで過ごして欲しいとの願いを込めて、お世話に当たらせてもらっています。

特に終始履物の整理に当たってくれる役員の方達は、歌舞伎芝居の裏方に徹してもらっているわけで、誰からも有り難う、ご苦労さんと感謝されるに違いないとは思っていますが、こうした裏方の役目に徹し、出入口での履物整理に当たられた方達の言動の一つひとつが参加者をして、口々に「有り難う」、「すまん」、「もったいないよ」等、感謝の言葉を投げかけさせています。このような素朴な行動こそが、会員同士の友情をより深めていくに違いないと思うのです。出入口での、こうした情景をジット見守っていたA氏曰く、「今日の履物整理場は、まさに感謝とお礼の、貸切り場みたいですね」と。心温まる嬉しい呟きであります。なお、下足番の希望者は、心配をよそに、例年多くの人達が希望してきますことを、是非とも付言しておきたいと思うのです。



## I O O P R 記者の審判



電友会徳島県支部長 賀川明孝

徳島電友会は、もともと電電徳島温古会とあって、昭和三七年一〇月二五日に正式に発足した。当時、電電公社では一〇月二三日の電信電話記念日を祝って、退職者を招待することになった。

これに呼応して退職者の会を作ってはどういう機運が起り、徳島県下においても退職者に呼びかけて、会員三七名で以て発足した。

第一回総会は、この日に会長江東利保氏（元徳島電気通信部長）、副会長土橋晴義氏（同）、幹事（栗本、一楽、亀井、西岡の各氏）の役員を選出して、料亭「浜伊」において盛大に行われた。

もともと徳島の退職者の会の創立は古く、既に、大先輩の栗本計太郎さん、先山武夫さん達が集まっていた「温古会」という電電退職者の会があったことから、この名称を引き継いで、「電電徳島温古会」ということになった。多分、「温故知新」という言葉があるように、後輩の人達に「古きを尋ねて新しきを知る」という意識を期待しながら、敢えて「温故」の文字を使わないで、自分達古い人達がお互いに大事にし合って長生きをしようというユニークな「温古」という名にしたようである。

その後、電友会四国連合会が、続いて全国電電退職者連合会が逐次結成された。更に、この全国電電退職者連合会（電退連）が改組されて、平成二年四月に電友会が発足し、各地方毎にあった退職者の会は、連合会組織から全国一本の電友会の傘下に統合されたが、各地方の独自性を尊重して、各地方の電電退職者の会の名称は従来通り使用されてきた。

しかし、従来の「温古会」の名称では、一部には元管理者の会と誤解される向きもあり、広く会員の受入れを容易にするため、平成七年五月に会の名称を現在の「徳島電友会」と改めることになった。

徳島電友会の会員数は、現在六三〇名（平成九年八月末）となっており、年々組織は増大している。会設立の目的が「会員

の親睦と融和並びに福祉の増進を図り、併せてNTT並びにそのグループ会社の事業及び業務の円滑な運営と発展に協力する」ということから、NTT関連退職者全員が加入することが望ましいことはいままでもない。

しかし、県下のNTT関連退職者（推定一一七〇名）に対する会員加入率は、五七％という低い率となっている。

このように、徳島県下の組織率が低いので、昨平成八年度は、役員の皆さんと協力して会員増強運動を展開し、一挙に七〇名の加入を得て、やっと現在の会員数に達したわけです。今後、もっともっと会員増強に力を入れたいと思っています。

一番の問題は、未加入者に対する啓蒙運動や、県都徳島市から遠隔地にある県の西部、南部地域の人々に対する呼び掛けをどのようにすべきか、頭を悩ますところである。

現在、会員のうち女性は二二〇名（三四％）となっており、また、世代別に見ると、明治生まれ一七名、大正生まれ一五八名、昭和生まれ四五五名となっている。七二％が昭和生まれとなっており、当然ながら若手の方々は大いに期待したい。

会員相互の親睦、融和……等を図るために欠かせないのが、全会員に対する情報連絡を正確にすることである。このため、情報連絡網を明確に定めており、会員の増減に応じて逐次補正を行っている。連絡系統はピラミッド形に親柱、中柱、子柱の三段階にお世話役になって頂く方がおり、柱になる一人が五人程度分担任して逐次伝達して行く方法をとっている。情報の内容は冠婚葬祭が主になっている。

この柱になって頂いている方々のご努力は大変で、全くボランティアに頼っている。年に一回程度集まって頂き、情報伝達の諸問題を討議し伝達方法の改善に資するとともに、その労に報いる方法をと考えているところである。

情報連絡のもう一つは会報の発行である。会やNTTのニュース、会員の情報、意見や余技の発表等々をお知らせするため、昭和六三年七月から年二回、会報の発行を始めた。

その後、編集委員の方々のご努力によって、立派な会報を発行することができるようになり、また、会員からの好評に因って、平成四年から年四回発行することになった。

当会も、今年一〇月で三〇号を発行するに至っている。

## 「〇〇部記者」



電友会高知県支部長 楠 瀬 邦 夫

「四国電友会会報第一〇〇号」の発行を、会員一同心からお喜び申し上げます。

さて、表題のもとで、各県支部から一ページ担当せよとのご下命がありましたので、高知電友会の状況について述べさせていただきます。

当会は、愛媛、徳島と時を同じくして、昭和三十七年一〇月、「高知電電社友会」という名のもとに会員数三四名で発足致しております。その後、微々たるものではあります。会員数も増加し、四四年にようやく百名を超えるに至りました。また、会の名称を四七年に「高知県電電公社退職者の会」と改め、六〇年にはNTT発足に伴い、「高知県電電退職者の会」と改称しました。平成二年には、全国組織である「電友会」が発足し、その組織下では、「電友会高知県支部」になるわけで、それならいっその名称を「高知電友会」に改めたらどうかとの意見ができましたが、「電電」という名に愛着を持っておられる方も多く、すぐには実現できませんでしたが、平成八年の総会で承認され、「高知電友会」と改称致しました。ただ、改称はしたものの、四国電力のOB会が「高知電友会」を名乗っており、対外的には「高知電友会」(NTTOBの会)として区別を付けております。

一方、会員数は徐々に増加し、平成七年には約六七〇名になりました。それでもOBの半数の加入にしかありませんので、何とか会員を増やそうと、平成八年、未加入の方々に対し入会を呼び掛けました。その結果、約一〇〇名の方に入会して頂くことができました。平成九年七月末で、会員数七六四名になっております。

また、当会でも「高知電友会会報」を発行しておりますが、創刊は以外に早く、昭和四六年末に「情報」と題して「第一号」を発行し、回を重ねて、この一〇月で第一二九号を発行することとなります。

以上、当会の変遷について述べさせて頂きましたが、次に、どんなことをしているかについて紹介させて頂きます。

## 「半生の記」(私達の小さな歴史)発行

平成七年は、終戦から五〇年の節目の年に当たることから、これを記念して、我々の思い出を記し、後世に伝えるのも有意義な事ではないかと思ひ、原稿を募集しましたところ、三〇名の方から三二編の応募があり、四六版一〇ページの小冊子を発刊致しました。

中身は「戦いの記」に始まり、「電信の記」、「電話の記」、「災害の記」と続き、「その他の記」で終わっております。

それぞれの記述は、それぞれの分野での体験を、時にはユーモアを交え事細かに述べられておりますから、読者にその当時のことを鮮明に甦らせてくれる冊子になったと自負致しております。なお、県立・市立の図書館に寄贈してありますから、末永く保存されることと存じます。

## 「NTT・OBバスツアー」の実施

会員の親睦をより深める事が出来ないかと、平成五年から、毎年バスツアーを計画、実施しております。「カニすき食べて温泉に入ろう」松江一泊の旅を皮切りに、今年には「木曾路の宿場巡りと諏訪湖と明治村を訪ねる旅」と題して募集したところ、大好評で、八〇名の応募があり、バス二台を連ねての大旅行団となりそうです。これは、当初の募集人員の二倍に当たり、役員一同嬉しい悲鳴を上げるとともに、よく集まってくれたと感謝しております。

## 「懇親会」をより楽しく

春の総会の後と暮れに忘年会と称して、「懇親会」を開催しておりますが、これを少しでも楽しく和やかにしよう、そして踊りや、謡のサークルの発表会の場にしてはどうかと考へ、昨年の総会後の懇親会の席上、手始めに踊りのサークルにお願いして踊りを披露してもらいました。

出席者から花が飛ぶ程の好評を得たものですから、暮れの忘年会では、謡のサークルにもお願いをし、また、尺八吹奏もあって、賑やかに懇親会をすることが出来ました。今年の春には、老年老女混成合唱団の出演もあって、より楽しい懇親会になっていっていると思ひます。

最後に、各県「電友会」のご発展を祈念して筆を置きます。

## 100周年記念誌

N T T 愛媛支店長 門脇 康裕

四国電友会会報第一〇〇号発行、おめでとございます。

昭和四六年に第一号が発行されて以来、二六年間の永きに亘り定期的に継続発行されてきた賜であり、心からお慶び申し上げますとともに、その間、発行に携わってこられた多くの関係者のご努力、ご苦労に対しまして、深く敬意を表します。

また、会報を大きな情報源とされ発行を心待ちにしておられる四国電友会会員の皆様のためにも、更に二〇〇号、三〇〇号……へと、発行されることを期待するところであります。

第一号が発行された昭和四六年は、私自身にとっても意義深い年でありまして、丁度この年に、私は電電公社に入社致しました。

思い起こしますと、電電公社からN T Tへと、電話拡充の時代からマルチメディア時代へと組織、事業形態等が幾度となく大きく変遷してまいりました。

この間、幾多の困難な場面がございましたが、諸先輩のご尽力の礎があつて、電気通信事業が今日のように世界に誇れる発展を遂げてきたものと考えます。

皆様方も既にご承知のとおり、平成一年には、N T Tが純粋持株会社の下に長距離通信会社と、二つの地域通信会社（東日本、西日本）に再編成されること、また、市外通話の競争に加え、今後、市内通話の競争も激化していくことが想定

される状況下において、これからの愛媛G P Uの責務は重大であり、経営方針としては、早期黒字化に向けて、全社員一丸となってマルチメディア事業を全面的に推進するとともに、「INSネット64」を始めとして、お客様に満足して頂けるサービスの提供に努めてまいることにしております。

愛媛県内に、電友会会員の方が一、六八〇余名いらっしゃるお聞きしておりますが、このような厳しい状況下において、各地域とN T Tとの接点として活躍されておられる諸先輩からの各種情報提供・アドバイス等は、私達にとって非常に力強いものとなります。

なお、当愛媛支店内に、マルチメディアの普及施策の一つとして、広く地域の方々がインターネット等、各種マルチメディア商品を体験できるコーナー「マルチメディアZOO」を開設致しておりますし、県内の各支店においても、マルチメディアへの取り組みに工夫を凝らし積極的に推進するなどしており、新しい情報が沢山ありますので、どうかお気軽に支店等へ立ち寄って頂き、お互いの情報を交換させて頂ければ有難いと考えております。

最後になりましたが、会員の皆様方のご健勝、ご活躍と四国電友会のみならずのご繁栄、ご発展を祈念致しまして、ごあいさつと致します。



N T T 香川支店長 三又 善博

四国電友会会員の皆様方には、平素から電気通信事業に多大のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、この度は「四国電友会会報」が昭和四六年五月の第一号発行以来、今回で第一〇〇号が発行されますことは、誠に同慶にたえません。

また、四国電友会におかれましては、電信電話の歩みと共に千変万化と申しましようか、組織編成、会員の拡大、更には、会の運営など数々の歴史を築いてこられたその地道なご努力に敬意を表したいと思ひます。

私も香川支店に着任しまして、早一年八ヶ月が過ぎましたが、その間、この会報を親しく読ませて頂くとともに、次号の発行を楽しみにしており、中でも、諸先輩方が、それぞれの趣味を活かされた各分野でのご活躍ぶりを拝見するたびに、自身の励みと、日常業務の参考とさせて頂いております。

特に、香川電友会におかれましては、昭和三七年の発足以来、年々発展を続けられ、今や会員数も一、〇三〇名の多きに達していると同っており、諸先輩方がそれぞれの地域・分野でのご活躍に併せ支店における夏・冬のサンクスフェア、OBボランティアグループを中心とした社会貢献活動、更には市主催の高松・丸亀まつりなど、社内外を問わず、各種施策の実施に積極的にご支援、ご協力を頂くと共に、時には、N T Tの業務運営に厳しいご意見を頂戴するなど、現役とOBが一体となった運営を展開させて頂いて

## 100号発行記念(1)

ており、感謝しているところであり、また、OBサロン「たまも」の開設後、会員の方々の憩いの場、情報の収集・発信拠点として、様々な形でご利用頂いており、今や連日盛況の状況であります。今後は、マルチメディア社会を反映したものとするため、既に設置しているパソコンを活用し、電子メール、インターネット、ホームページ作成等が行えるような環境整備も進めておりますので、是非、多くの皆様にご利用して頂きたいと思っております。

一方、情報通信を取り巻く環境は、技術革新やお客様のニーズの高度化を背景に、急激にマルチメディア化、国際化しつつあり、今後もデジタル技術への急速な進展により、マルチメディアサービスが一層発展していくものと思われ、この様な急激な環境変化を踏まえ、電気通信事業においては、地域系事業者のISDNサービスへの参入、携帯電話やPHSサービスの急速な普及等、ローカル分野を含めた全面的な競争へと変化してきております。

また、NTTも二年後の純粋持株会社を中心とした東・西地域会社及び長距離・国際通信会社への再編成など大変革の時期を迎えようとしている中、香川GPUの平成八年度収支決算では、本社経費も含めて、初めて黒字を計上することができました。このことは、社員はもとより、これまでの基盤を作り支えて頂いた

諸先輩方のご尽力の賜物であり敬意を表する次第であります。

以上の様な状況を踏まえ、今後においても電気通信事業に対し、深いご理解をお持ちの諸先輩方のご協力を頂き、地域の生の声もお聞きするとともに、地域会社とNTTとの力強い接点として、電気通信事業の発展のため、ご指導、ご支援を頂きますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、「四国電友会」のご繁栄と会員の皆様方のご健康を心からお祈り申し上げ、「四国電友会会報」第一〇〇号発行記念のお祝いとさせていただきます。



NTT徳島支店長 三浦 秀利  
四国電友会会報第一〇〇号の発行、大変おめでとうございます。

会報の中では「私は今」や「サークルだより」などを楽しく拝見させて頂いておりませんが、電友会の皆様のお元気で、つらつとした活躍は、我々に対し「現役、頑張れ」或いは「少し肩の力を抜け」と叱咤激励して頂いているようであり、その都度元氣付けられています。この場をお借りしお礼を申し上げます。

また、NTTの経営形態問題において、我々はNTTの意見を理解して頂こうと、地域のオピニオンリーダーの方々に対し訪問説明した訳ですが、その際には皆様方の地域に根ざしたボランティア活動や貢献活動が如何にNTTの印象を高めているかという事を、痛感させられたものです。改めまして皆様の日々の活動に対し、敬意を表するとともに感謝申し上げます。

さて、今高齢化社会がやってきています。日本は世界一の長寿国であり、六五歳以上の比率が西暦二千年には一七%、二千二〇年には二五%になると言われています。いわゆる公的年金等による社会的扶養という観点では、現在は働き手四人で一人の高齢者をみており、二千二〇年には二人で一人を支えるようになるそうです。

このようなデータからマスコミなどでは、これからの高齢化社会は、なんとなくマイナスなイメージを抱かせる論調が強いようですが、私は決してそうは思いません。高齢化社会、即ち長寿は人類の

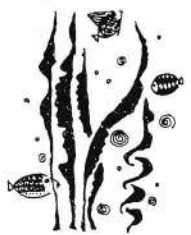
## 100周年記念号

長年の夢です。秦の始皇帝は、不老不死の薬を求めて中国各地を回られたという話にもあるように、長寿は人類の永遠の夢なのです。

それが叶いつつある現在そして将来が、暗いイメージであるはずがありません。むしろ高齢者の比率が低かったこれまでの時代こそ異常であり、ようやく正常な時代に入ってきたと思っただ方が良いのではないのでしょうか。

子供と働き手の大人とそして高齢者がバランス良く存在する時代になってきたと思うべきでしょう。高齢者は高齢者として自主的に、そして生きがいを持って暮らせる時代になったということでしょう。このように考えますと、能動的に活動されている電友会の皆様方は、これからの時代における高齢者のあり方を示唆しているような気がします。どうか世間に遠慮することなく、これまで通り堂々と高齢者の生活をエンジョイして頂きたいと思えます。

最後にありますが、会報第一〇〇号の発行を一つの節目とし、四国電友会の皆様方が益々ご健勝で、ご活躍されますことを祈念致しまして私の祝辞とします。



## N T T 高知支店長 尾崎 幸博

電友会の皆様こんにちは。高知支店長の尾崎です。電友会会報一〇〇号記念誌の発行本当におめでとうございます。

丁度、N T T の再編成が決着をみた今年、電友会会報が一〇〇号を迎えられたというのも何かの縁でしょうか。普段、様々なご支援を頂いていながら、中々ご報告の出来ていない、最近の状況等について、この機会に少しお話をさせて頂こうと思えます。

一つは、再編の問題です。昭和六〇年の民営化以来の懸案であったN T T の再編は、結局、純粹持ち株会社一社と、長距離・国際を担当する会社一社及び東西の地域担当会社二社の四社に再編されることになりました。

もとのN T T 株は、全て持ち株会社の株となるため、株主の皆様に対しては、その利益を損なわずに移行できることとなりました。お客様に対しても、持ち株会社の統制のもと、一体的サービス提供に努力することにより、ご迷惑をおかけしない形で移行できるのではと考えています。

当高知は、西日本会社の所属となり、これまで通り地域のお客様へのサービスを展開していくこととなりますが、西日本（東海、北陸以西）は、設立当初から赤字と想定されており、高知支店としても、年々赤字幅は減じているものの、未だに赤字支店から脱却できていない現状を考えると、今後、一層の経営努力が必要と考えています。

二つ目は、マルチメディア化の進展に

よる経営環境の激変についてです。

これまで、一世以上にわたり構築されてきた、電話の世界が、急激にマルチメディアへと変化してきています。具体的には、基盤技術が、アナログからデジタルへと変化し、通信手段が、電話からインターネットに代表される、コンピュータ通信へと変化しはじめているということです。

特に電話は、いわゆる黒電話（固定電話）が、携帯の進展におされ全国で純減となりはじめ（この傾向は高知も同じ）、デジタル回線のI N S 64が、一般アナログ回線の伸びを上回るといった形で、具体的な影響を見せはじめています。

市場も、オープン化の進展により競争が激化しており、N T T の長距離シェアは六〇%を切りそうな情勢となっております。このような中で、お客様に選ばれていくため、高知支店では、全力を挙げて、新しい時代に適合した経営体制の構築と、社員のスキル転換に取り組んでいます。

また、高知県の取り組まれている「うち二〇〇一プラン」と呼ばれる情報化計画への参画等を通じて、地域にお役に立てる高知支店を目指した努力を、現役一同続けていますが、先輩の皆様方も、是非、それぞれの地域活動を通じて、これまで以上のご支援をお願いしたいと思います。

最後にりましたが、皆様方の、益々のご健康、ご多幸と、電友会の益々のご発展を、心からご祈念申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

「電友会報」の発行

四国友愛会会長 山下 里江

電友会会報一〇〇号発行おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。また、会報発行に携わった方々には、様々のご苦労があったこと等を推察し、敬意を表します。

私達、元電話局のOBが、勤続二〇年に満たないで退職した場合、入会出来なかった時期がありました。その頃から考えますと、電友会も素晴らしく発展されていることをつくづく感じております。NTTも時代と共に移り変わり、私達と最も深いかわりがあった情報案内センター業務も、NTTグループ会社が行うことになる等、私達OBとNTTの接点が段々無くなっていくのではと、寂しくなっております。

どうか、電友会は、これからもNTTの動き、催し物、会員の動向等、私達の知りたい情報が満載された会報を、一五〇号、二〇〇号へと引き継いで、益々充実した、親しみを感じさせる会報へと発展されますことを祈念致しまして、お祝いの言葉と致します。

全電通退職者の会

四国地方協議会会長 国村 輝男

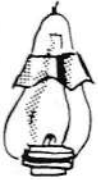
「電友会報」の第一〇〇号発刊を、お慶び申し上げます。

この会報は、退職者の関心事である、四国のNTT事業の動き、ボランティア活動、文芸面の紹介、会員の情報交換等、

多彩な内容の編集がなされています。そうして、この立派な会報が長く継続して発行されましたのは、編集に携わる方や関係者の皆様のご努力の賜物と存じ心から敬意を表すると共に、今後とも一層の進展をご期待申し上げます。

さて、この一〇〇号記念を迎えた今、我々の古巣であるNTTは、組織の改編に着手していますが、私達退職者の組織も何らかの影響があるかと思えます。また、これとは別に、全電通退職者の会は電友会と同じ様な電電OBの親睦団体だから、組織を一つにしてよいのではなにか、という意見があります。

これについて、全電通退職者の会は単なる親睦団体ではなく、会員は扶け合い事業（退職者共済）の加入者であり、暮らしを守る現退一致の運動（全電通と一体ですすめる運動）を、推進する全電通特別組合員でありますから、組織方針も違い、単純に統一出来るとは考えられませんので、ご理解を賜りたいと存じます。また、私達の仲間には、地域での色々なサークル活動にも参加し、人生を豊かにしていますが、それらの組織も生い立ちや歩き方は違いますが、お互いに尊重し、共存共栄の道を歩けばよいのではないかと考えられますので、全電通退職者の会と電友会が、今後とも友好関係が更に発展することを念願致します。



(二ページからの続き)

NTTグループカードの発行であります。年会費は無料のうえ、市外通話料金が二〇%まで割引となります。割引率は他のどのカードよりも大きく、お徳です。しかもクレジットカードとしても便利に利用できます。是非ご加入下さい。

最後になりましたが、今後とも地域社会と弊社との接点になっていただき、電気通信事業の発展のため、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のますますのご健康とご多幸、並びに四国電友会のご繁栄をお祈り申し上げます。



## 100周年記念に寄せて

## 電友会発足の前後

前電友会四国地方本部長

## 六 車 美 一

今の電友会の前身は電退連で、電退連の正式名称は、「電信電話退職者団体連合会」です。

もともと電電のOB団体は、それぞれの地方で独立した団体として次々に結成されたものです。そうして、後年、出揃ったところで全国的な連合体のかたちで電退連が生まれたのでした。

その電退連の第二〇回総会が、平成元年六月、東京で開かれ、当時、私は四国電友会連合会の会長でありましたが、電退連メンバーの一人としてこの総会に出席しました。

総会の席上、武田輝雄会長はあいさつの中で、次のような意見を表明されました。

「電退連も、来年は発足二〇年を迎えることになりました。この機会に、会の在り方、会の運営について根本的に検討すべきではないかと思うのであります。電退連は単に年金問題についての団体という分野にとどまるべきではなく、もっと広い活動をすべきではないかというところとあります。退職者の心の安らぎ、志気の振興のためにはもっと積極的な活動をする。更には、N T Tとの連絡協力を密にし、相互協力・支援体制を整えることも必要でしょう。いずれにしても、電退連は年金生活を防衛するという消極的

姿勢から、積極的に物質的、精神的向上安定を図るという積極姿勢に転換すべきではないかと思うのであります。皆様のご意見を聞き、そのための検討研究会を設けてはどうかと思えます……」

さて、この年の前年（昭和六三年）の六月、N T Tでは、トップの交替があり、新社長に部内生え抜きの山口開生氏が就任しました。

社長交替の次第もあって、N T T社内に新しい空気、新しい体制が広がりました。電退連に対する姿勢にも、地方ではそうでなくても、中央段階ではそれまでよそよそしい空気がありました。それを修復しようという空気に変わって来ました。前記、武田会長の電退連将来像と、N T T側の対OB姿勢の変化がうまくかみ合うようになっていきました。

電退連本部は、N T Tとの接触を重ねる一方、電退連内に「新組織検討委員会」を設け、組織の在り方について検討を続けました。そうして検討の結果を踏まえ、平成二年二月の理事会において、OB会の今後の在り方が打ち出されました。その骨子は次の通りです。

「OBの結果とその総力の発揮及びN T Tとの相互協力・支援体制の推進のため、現在作られているOB団体を発展的に改組再編成して、全国一本の単一組織とし、本部、地方本部、支部の体制にする。名称は電友会とする。発足の時期は平成二年四月一日とする」

一方、同時並行的に、N T Tと電友会との間に協議が行われ、相互協力・支援

することの申合せが成り立って行き、平成二年四月一日、いよいよ新しい電友会が発足しました。

N T Tと電友会との間の相互協力・支援の具体的内容としては、①N T Tは、電友会の人件費の一部及び運営費の一部を補助する。OBサロン開設、記念日招待、慶弔金支出などOB対策を定着して行うなど。②電友会としては、N T Tに対してOB連絡窓口の役目、世論形成、情報の提供、行事参加などによって協力するなどあります。

それから早七年以上経ちましたが、電友会はその目的・趣旨に沿って今日に至っていると言えるでしょう。また、会員も年毎に増加していき、改組発足時の平成二年四月の会員は、全国で六万五千名、四国で三千二百名でしたが、今日では、全国で八万七千名、四国で四千百名に達しています。

今後、更に増加することは確実であります。そして、電友会が、OBの皆さんにとって十分存在価値のある団体となってきたことは、喜ばしいことでもあります。



## ドキュメント

## 人生さまざま・後半生を生きたる

## ペンション経営を生き甲斐として

高知県は西南端の幡多郡大月町に「ペンション南南西」という宿泊施設がある。そのオーナー兼経営者が、我が電友会会員の中村秀之助さんである。

昭和六十一年にN.T.T.を退職した中村さんが、この人里離れた土地にペンションを開設して一〇年。今も立派に営業を続けているという。

ここは一番、現地を訪ねて、中村さんの人柄に接し、この人の人生ドキュメントを探ってみようと考えた私は、梅雨も明けた七月下旬、愛車を駆けること約五時間。目指すペンションに着いた。

笑顔で迎えてくれた中村さんとは初対面にもかかわらず、直ぐに打ち解けることが出来た。やはり、OB同志の気楽さと、オーナーの人柄によるだろう。

ここで、中村さんの経歴に触れておきたい。中村市の出身で、昭和二五年、中村電気通信管理所に採用され、中村電報電話局を経て、三一年に四国通信局へ。更に三八年には本社（通研）へ。以後二三年間、関東通信局管内で転勤を繰り返して、六一年、川越電報電話局長を最後に退職した。その間の人生も、かなり波瀾に富んでいたことは、容易に想像できる。さて、本来なら関連企業に再就職して、住み慣れた首都圏で優雅な第二の人生を過ごすことが出来た筈なのに、敢えて敵

しい道を選択した理由は、大分以前に買収求めてあった大月町の山林（約六千坪）の一部を開発して、ペンションを開設することにあった。

さまざまな困難が予測されたが、旺盛なチャレンジ精神と古里志向が、この決心を鈍らせることはなかったという。

それにしても、どうやって奥様を納得させたか、非常に興味があったが、中村さんは多くを語らず「一年かかって洗脳したよ」と笑って答えた。

雑談を交わす間に、夕方近くなったところで「当ペンション自慢の美しい夕日を見ますか」という言葉に促され、ベランダへ出てみた。

右手に鶴来島、左手に姫島を望む海上では、正に落日が始まるうとしていた。幸運にも当日は快晴に恵まれ、その華麗で壮大なショーを堪能することが出来た。間もなく夕食が始まった。奥様の手料理を御馳走になりながら、たっぷり話を聞くことが出来た。

最大宿泊能力一五名というこのペンションの運営は、食事は奥様の担当、営業仕入れ、雑用等は中村さんの担当で、従業員はいない。夫婦げんかなどしている暇はないそうである。こうして、年間一千二百から一千三百の宿泊客と触れ合うことが、この人の生き甲斐になったというが、そのご苦労は想像に難くない。しかし、当の中村さんからは「苦勞」という言葉は一言も聞くことがなかった。話は前後するが、何しろ三km四方に人家が皆無というこの山中を切り開いて、延べ約七〇坪のペンションを建設したの

だから、言い尽くせない程の苦勞があったに違いない。だが、中村さんは、淡淡として当時の事情を語ってくれた。

まず、資金調達の問題、次に建築業者の選定、ライフライン（特に水）の確保、営業許可に関する行政との折衝、PRの問題等々、不精者は考えただけでも気が遠くなるような難問題を、次々と克服していったというが、このパイオニア精神には全く敬服の外はない。同時に、長年サラリーマン生活を送った人とはとても思えない。

夢中で話し込んでいるうちに、夜もかなり更けていった。気がつけば心地よい自然の涼風が吹き抜けていた。空を仰げば満天の星、沖合には漁船の漁火と、値千金の雰囲気漂っていた。全く一人旅には勿体ない話である。中村さんがこの地を選んでペンションを開設した理由が分かるような気がした。

一夜明けて、ベランダで味わう朝食は、また格別なものであった。爽やかな朝風に包まれ、緑の山々、青い海に向かい、小鳥の囀りを耳にしながらの食事は、街中で生活している者にとって、これ以上の御馳走はない。

かくて、中村さんは、今後も大勢の人達に、生命（いのち）の洗濯の場を提供し続け、いかなる困難も克服していくに違いない。日頃怠惰な生活に明け暮れる私にとって、反省の思いと同時に活力も分けてもらったような気がした。

（窪田編集委員記）



## 私は今

## 愛媛

## ◇ 池田 和子 (松山市)

早いもので、今年はお人手帳を頂く年齢になりました。長年のお勤めで職業病とも言われる第五頸椎ヘルニアの病状があり、現在、治療中です。病状にはムラがあり、日常の生活は何かと経過させています。

趣味は読書と大正琴を少々。別に古典と仏教の勉強をしております。

病を持つ私ですが、残された人生を与えられた時として受け止め、生かされてある今を大切に、日々を喜びと感謝で過ごしたいものと願っております。

## ◇ 池田 次生 (松前町)

昭和五七年に退職後は、神崎部落の会計を二年。その後、神崎老人クラブのお世話をさせて頂いて、現在六年目です。身体の方は、年一回の町の健康診断を欠かさず受診しておりますが、高血圧その他で薬の世話になっております。しかし、自分では元気なつもりでクロツケ、グランドゴルフに精出しております。その他、老人会の旅行、高齢者大学等でボケ防止のため励んでおります。また、気の合った者同士が、月一回の飲み会と年一回の旅行を、退職以来継続しております。

## ◇ 泉原 猛 (松山市)

平成六年七月、退職と同時に今まで以上に多忙。現在、環境庁環境カウンセラー、山階鳥類研究所標識調査者、県アマニティ・アドバイザー、県生涯学習推進講師、県自然観察指導員、日本野鳥の会県副支部長、文芸誌「原点」同人、鳥学会会員等々、主にNGO関係の活動が中心。月額二万円程度の年金では自分のエサさえ危ない。これ即ち「貧乏暇なし」の図。趣味は登山。今年半年間、愛媛新聞「四季録」に執筆。

## ◇ 井手 清孝 (松山市)

第二の職場を退職してから約一〇年。念願にしていた四国八ヶ寺の巡拝も、友人の助力(自動車運転)を得ながら終ることが出来ました。

年齢の関係か、数年前より寺の世話をするようになり、毎年八月二〇日の施餓鬼には、参拝者のための準備、後片付け等に汗を流しております。

最近では、近くの公民館に出掛け、囲碁を習っていますが、何分上達は無理のようです。とにかく、時間の経過をことのほか早く感じる今日この頃です。

## ◇ 岩代 昭邦 (北条市)

退職して早一〇年余り。その間、諸先輩のご配慮により、N T T 関連会社で少しでも働けたことを感謝しております。私は三年前から糖尿病と診断され、食事療法と朝のウォーキングを続け、今では医者も驚くほどの正常な検査結果を保っております。

糖尿病対策は、食事と運動の管理を継続することが先ず肝要と思います。これからも一病息災と健康に留意し、まだまだ頑張らねばと思っております。

## ◇ 岩本 忠一 (松山市)

人並みに齢だけとはって、今年喜寿になりました。でも体の方はところどころ傷んでいますが、マアマアの元気です。テレビ等で人は足から衰えるなどとオドされるものですから、出来るだけ歩くことにしてはいるんですが、なかなか実行できません。退屈しのぎに週に一度位コミセンの図書室で本を借り、乱読を楽しんでいます。

近づく二一世紀の幕開けは、同時に、八〇才の節目でもあります。この坂を元気で登るため、日々頑張っております。

## ◇ 梅本 安則 (松山市)

昨年四月、小学三年の孫が子犬を買ってきて以来、朝夕の散歩は私の役目になりました。お陰でコレステロール等の値が改善され感謝しています。

年来の碁友、ゴルフ友達には心ならずも不義理をしていますが、還暦の頃から詩吟と俳句を始めています。日暮れて道遠しです。

また、ささやかな奉仕活動の一つとして、町内の花壇のお世話をしています。つい先日、三年生全員が見学を訪ねてくれて感動した次第です。

## ◇ 越智 政則 (松山市)

退職して一三年目を迎えました。

平成五年一二月、妻が急死し、生活リズムの激変により、一時、体調を崩しました。

その後、長男夫婦に孫三人が同居。健康保持の自戒心から、嗜好品であった煙草は断ち、朝は散歩する。週末には孫のよき支出役(?)を務める。週三回の暮会には顔を出すことにしました。

お蔭様にて至極元気で、毎日、適量の晩酌に感謝しつつ、テレビ等と仲良しになっている時間も結構長い、今日この頃です。

#### ◇ 片山 茂 (宇和町)

約六〇アール程の野菜畑に今朝も立っている。朝露に濡れた旬の茄子の紫、トマトの赤、胡瓜の緑とそれぞれに食感をそそる。

退職して一二年。造成された団地に入居し、早速に区長を拜命。生活習慣、家族構成等、過去現在が異なる集団をどのようにまとめるか、苦勞した四年。プロックの代表区長一年も過ぎ、今は孫からの電話を楽しみに、趣味の囲碁とカメラで、毎日、自分の健康維持に努めています。

#### ◇ 川端 昇平 (松山市)

退職後、テルウェル物流センタで六年余、お世話になりました。途中、風邪で無理して肺炎で入院。手術となり、いまだに、月一度、通院しております。

趣味にと在職中に覚えた囲碁(昭和五一年に日本棋院二段取得)も、退職時は、毎日OBサロンに通い、囲碁大会で優勝

し、「今後は四段格で対局するように」とまで言われる熱心さでしたが、年号が変わってから段々億劫になり、今では水墨画と盆栽に代わり、妻とお四国巡洋をしています。

#### ◇ 近藤 好文 (松山市)

四八年間のサラリーマン生活にピリオドを打って(テルウェルを退職)二年余り、その間、あれもしたいこれもしたいと思っているうちに月日が経ち、今年の四月、思わぬ病気に罹り、二ヵ月余り入院生活。しみじみと健康の有り難さを感じています。

若い若いと思っているのは本人だけであらう六五才。高齢者の仲間入り。これからは健康に一層気を付け、みんなからせめて、やさしいおじいちゃんと言われ、る様に努めたいと思う今日この頃です。

#### ◇ 児島 勇 (松山市)

第二の職場を退職した四年前から、近くにある僅かな畑で、趣味と実益?を兼ね、草を育てるよりはと雑草と格闘しながら野菜が育ち、花が咲く喜びに汗を流しています。

また、下手の横好きで将棋クラブ例会に参加し、隔月毎に「サロンかつやま」で楽しんでいきます。

以前から健康のためと、可能な限り夫婦で歩いています。最近「何時まで揃って歩けるか」などと言いながら、万歩計を腰に一二九才、今日も歩いております。

#### ◇ 坂本 浩 (新居浜市)

退職後、上司先輩のご高配により、住友電工通信エンジニアリング(株)で勤務させて頂いております。

退職当時、新居浜市にCATV会社が発立されて工事が始まり、それ以降、現場代理人として工事をさせて頂き、現在は第五期工区の工事準備中であります。NTTとか、四国電力の電柱共架申請などの資料作成に汗を流しております。一二月のサービスに向けて努力中です。皆様もお体を大切に、元気で過ごして下さい。

#### ◇ 清水 光 (松山市)

第二の職場を退職して早くも四年。退職後すぐ民生児童委員を拝し、地域のお世話をさせて頂きながら、ボランティア活動の協力会員として仲間入りしているところでございます。

元来スポーツ好きですが、「椎間板ヘルニア」がありますので、月二、三回のゴルフとカラオケ教室、謡、旅行等、そして親しき友との一杯と、結構忙しい日々を楽しんでいます。皆様のご健康をお祈りします。

#### ◇ 下村 政市 (松山市)

公社を退いて一四年になりますが、元気で消光しております。三年程前から友人の誘いで釣りを覚え、指導が良いのか、チヌ、グレ等まで釣れるようになり、釣りに凝っている昨今です。

好天の海原で無心になり浮きを見つめる空間と、当たりから釣り上げる感触は、

何とも表現できない醍醐味といつてよいでしょう。

船に酔う私は、波止釣りで真鯛の大将を目指して、これからも楽しい日々を過ごしたいと思っております。

#### ◇ 末光 幸雄 (松山市)

退職後、足掛け七年程二カ所の職場に就職しましたが、一昨年三月に六五才の定年を迎え、そこも無事に卒業しました。退職前に単車の自損事故で一〇日余り休んだだけでした。

NTT退職後二年頃から始めた散歩(事故後はリハビリも兼ねて)を続けている所為か、今もって身体だけは健康です。

暑くなってから散歩をズルけて、毎日何もすることなく過ごしています。皆様もお元気で……。

#### ◇ 清家 明 (松山市)

NTT誕生の翌年に退職。第二の職場で七年余りお世話になり、今は二人暮らし。ニューヨークに六年も住んでいた娘や孫達が今年帰国する。会えるのが楽しみ。

これといった趣味はないのですが、地主さんから頼まれて借りた近くの畑と山での野菜と伊予柑づくりで、生まれて初めての作業に汗を流している昨今です。これからも健康に留意し、輝く二世世紀めざし、楽しく頑張って生き抜きます。

#### ◇ 清家 新作 (広見町)

平成三年三月に現役を退いた後、日本

公衆電話会に勤務し、六年間を過ごしました。

日公会も今春定年退職しましたが、平成七年春の統一地方選挙で、思いがけず自らがタスキを掛けることとなりました。NTTを退職後、地域での世話役活動やボランティア活動のお蔭で、多くの方々のご支援を受け、現在、広見町議会に籍を置き、産業建設常任委員会の副委員長として、在職中の経験を活かし、地方自治にたずさわっています。

#### ◇ 高田 治 (松山市)

三月末でテルウエルを退職して四ヵ月半が経ち、勤め中心の生活から自分の時間を自分でどう使うかという生活にも慣れ、次のことを中心に、目標をもった毎日を送っております。①スポーツクラブに通って体力を向上。②ゴルフスクールでの基本からのやり直し。③囲碁の実力三段への棋力アップ。また、九月からは水彩画教室への入学。四国八八カ所巡りや、小旅行なども始めたいと思っております。

#### ◇ 高橋 太郎 (伊予三島市)

昭和六〇年三月に退職後、第二の人生を有意義に、を目標に過ごしていました。が、平成五年九月に脑梗塞により入院し、現在、家で療養中です。健康は最大の幸福です。お互いに健康に留意して、最良の人生が送れるよう頑張ります。

#### ◇ 田中 萬木 (松山市)

六年前、一二指腸の手術をして、一ヵ月間、食事は喉を通らず一〇きばかり体重が減少し、「こんなに苦しければ生きてよういかな」と弱音を吐いたこともあった。

そこで始めたのがファミコン将棋。余り熱中すると目が疲れ、日課の散歩がおろそかになるから要注意。しかし、退屈しのぎには最適。最近覚えたワープロは、頭脳を活性化させ、老化防止に役立っているように感じる今日この頃である。

#### ◇ 垂水 秀夫 (松山市)

今春テルウエルをリタイアし、四〇年前の英語力を取り戻そうと、目下猛勉強。ニューズウィークを読み、分からない新語俗語にショック。四〇年前のCODも役立たず、時代の推移をつくづく痛感している次第。

それでも翻訳家修業の二〇〇三〇代の若者に伍して、今夏のテストで一点差の全国第二位となり、少し自信を回復。何とか喘ぎながらやっています。

また、好きな俳句も部内、部外の句会に参加し、吟行を含めて楽しく呻吟?しています。

#### ◇ 寺田 忠敬 (松山市)

今、総合通信エンジニアリング㈱の派遣社員として、携帯電話関係の仕事に従事しております。

会社は、年二回、研修として東京に呼んでくれますので、結婚していった末娘と会うことを楽しみにしております。

休日には、八八カ所参拝(二回目)や温泉巡り等を行っており、充実した日々を送っております。

今年は還暦を迎えるため、結婚した娘達が記念にと旅行の費用等をプレゼントしてくれました。この秋には、夫婦揃って温泉旅行に行く予定にしております。

#### ◇ 嶮本 宜義 (伊予市)

退職して早くも一〇年余りが過ぎました。共済会で七年余りお世話になり、その間、電話料金請求書の発行業務等をお手伝いさせて頂きました。

また、広報委員、大字総務総代等で、五年間、地元のお世話をしておりました。現在、今年四月に一応解放されました。

現在は、愛媛県長寿学園専門過程のスポーツコース(この四月から二年間)を元気で受講しております。

#### ◇ 豊永 一誠 (北条市)

第二の職場を終え、あっといふ間の五年。幸い健康に恵まれ忙しく過ごしております。

かねがね何か自分に合った趣味を持ちたいと思っておりましたが、知人に勧められて水彩画を始め、最近ではグループ展に出展したりして、仲間との交流を深めています。

たまには野山に出て季節を描いたりしています。まだまだ絵を描くなどと言う域ではありませんが、折角始めた唯一の趣味。これからも自分なりの絵を描いていきたいと思うこの頃です。

#### ◇ 中川 繁昭 (北条市)

退職後、故郷北条に帰り、間もなく一〇年が過ぎます。帰省当時、町内会長さんや地域の役員さんの再三の依頼で、断りきれず、区長(自治会長)を引受けて一〇年近くになります。

世話役活動も長く続けていると、役員名も年々増え、代表区長会ほか各種団体役員を兼務し、地域行事への参加も多く、背広・ネクタイ姿に縁が切れません。

幸いにN.T.T.現職時代に学んだ「ノウハウ」を活用し、各団体役員さん方に負けないよう頑張っております。

#### ◇ 中川 勝 (松山市)

昭和一五年、広島中電を振出しに五七年退職。在職中に宅建主任者資格をとり、退職とともに宅建業を開業。常に誠意をもってお客さんの立場で仲介しました。同業者も多く、中小企業の厳しさを痛感しましたが、良い人生勉強となりました。

古希を過ぎてより趣味の方に力を入れていきます。囲碁同好会の集まりに週三回出席し、ボケ防止に努め楽しんでます。

旅行も箱根以西はマイカーで、東はフルムーンを利用し、全国各県殆ど回りました。六二年より年二回位海外旅行に行っています。遺跡ではピラミッド、万里の長城、兵馬俑。自然ではカッパドキア、グランドキャニオン、ナイヤガラ等々、また、ヨーロッパの文化の深さに感動しました。

よく働き、よく遊びましたが、最近体力の衰えを感じるようになり、毎朝六時より散歩に行き、繁多寺でラジオ体操

をして帰っています。

#### ◇ 中藤 悦雄 (松山市)

N.T.T.を退職して九年。テルウェルを退任して三年。お蔭様で健康に恵まれ、早朝ウォーキングを日課に、時折のOB仲間とのゴルフ、旧友との交流会、行楽地へのドライブ等を楽しみに。

また、地元地域へのご恩返しに、一昨年から民生委員を拝命。当堀江地区には特養ホーム等の老人福祉施設七施設、身障者施設七施設と、正に福祉のメッカ。各施設との交流体験を生きた教材として目下、社会福祉の原点を勉強中です。

#### ◇ 中村 節也 (宇和町)

皆さんお元気ですか。私は昨年三月、最後の勤めを退き、幸い健康で、現在、町内のお世話をするかたわら、好きな俳句、野菜作り、小旅行などで楽しくやっております。

思えば、N.T.T.四〇年、民間二年、テルウェル四年と四六年の長きにわたり、皆様のご愛顧に支えられ、幸せな人生を送って参りました。

二人の子供達もそれぞれ独立し、只今は家内と二人。健康だけに留意し、気儘に暮らしております。当地にお出かけの際は、どうかお声を掛けて下さい。皆様のご多幸を祈ります。

#### ◇ 永吉 孝男 (松山市)

数年前から妻の体調が悪くなったため、もっぱら家事の手助け等雑事に明け暮れしている今日です。

こうした事情もあって、一昨年家を改装して長男夫婦に孫三人と、一つ屋根に住むことにしましたが、出来るだけ自立出来るうちは、そうした方がよいと思いつから、D・Kも別にしました。いわゆる「つかず離れず」ということでしょか。趣味の方は、週三回、公民館での基会に出席する等楽しくやっております。健康の方は、やはり古希を過ぎると医者通いが多くなりましたが、大したことはなく、まあまあです。

#### ◇ 西村 港 (宇和島市)

六三年に退職して早くも九年。お蔭様で元気に過ごしています。

今はウォーキングクラブに入会して、自然に親しみながら健康づくりに励んでいます。また、コーラスや書道を楽しむなかで、良い友人に恵まれ、心身のリフレッシュができて感謝しています。

これからも、若々しく与えられた人生を有意義に送りたいと考えています。

#### ◇ 橋田 郁夫 (今治市)

早いもので、昭和五年に退職後、もう一七年余になりました。

退職後は電報配達の請負、保険会社の嘱託等で、約一三年程は忙しい毎日を送りましたが、現在は家内と二人でのんびりと年金生活を送っております。

お蔭様で、今のところは体調もよく、時々、船釣りに行ったり、戦友会、小学校の同窓生との小旅行等を楽しんだりの他は、読書、テレビと気儘な毎日です。健康保持のため、何か運動をと模索中

ですが……、皆様もどうかお元気で。

#### ◇ 林 等 (松山市)

退職してから一四年目に入り、いつの間にか、古希を迎える年になりましたが、近年とみに身体の衰え(原爆症状かどうかは不明)を感じるようになりました。このような状況の中で、最近の特に印象深い出来事としては、愛媛県下では初めての原爆体験記を発刊することになった幸せであります。

それで一昨年は、原稿の収集に始まり、編集・校正・発行、それに出来上がった体験記の贈呈・販売等で明け暮れましたが、大半の作業にかかわり、遂に完了させたことの喜びは、大きかったといえるでしょう。

#### ◇ 樋口 巧 (松山市)

NTTを退職して早くも一二年。昭和六一年四月に愛媛県神社庁に再就職しました。愛媛県内には、一二四〇余の神社に約四七〇名の神職が御奉仕しており、これらの神社の管理業務を行っています。平成五年一〇月には、二〇年に一度の伊勢神宮の御遷宮があり、私も参列させて頂きました。お蔭様で、大神様の御神徳を頂き健康に恵まれ頑張っています。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

#### ◇ 日和佐廣昭 (東予市)

週休三日の仕事を友人に紹介されて三年目。五畝の田圃と三畝の畑、三軒の庭木の手入れ、自治会と公民館活動、県のコミュニティがあつて女房の運転手。運

動はテニスとソフトバレー。これが私の生活。計画は立てない。一日が流れて終わればいいのだから気楽。

気楽だけでは!の部分は一瞬の勝負に賭ける緊張と推理。そして囲碁の世界。早晚滅びる人類だが、自分の命運の方が遙に早い。心臓に負担のかからないよう祈りながら。

#### ◇ 松浦 積 (松山市)

公社を退職して一三年。一昨年素浪人。相も変わらず町内会や公民館の奉仕活動が続いています。

幸い健康に恵まれ、郷土の歴史や文化を勉強したり、家族との小旅行、他に、昔の仲間との飲み会等で楽しんでいます。古希の声と共に、お酒も覇気も弱くなり、休肝日も心掛けています?

今は、良き時代に生きた喜びに感謝し、他人様に喜んで貰える人間らしき余生を生き抜きたいと願っています。

#### ◇ 松木 竹男 (丹原町)

誘われるままに始めたグランドゴルフでしたが、最近毎日、早朝から二時間余り、一打ち一打ちに一喜一憂しながら汗を流して楽しんでいます。

そのためか、今までに全く体調もよく、快食快眠、真っ黒に日焼けして元気でおります。

園芸を楽しむに、退職後移り住んで一六年余、田舎生活にもすっかり慣れて、「晴耕釣打、雨読」の平凡な日々を過ごしています。

## ◇ 真鍋 清 (川之江市)

平成六年八月、遺言を書いて頭を手術しました(動脈瘤破裂を防ぐためクリップをした)が、後遺症もなく、一二月退院。お蔭様で元気です。

富士山は二回登山。五九年からの巡拝はお四国九回に観音霊場(西国)一三回。また、北海道から長崎野母崎までと、沖繩は摩文仁の近くまで旅行もしました。毎日、ビデオ録画やFMの録音もやっております。

## ◇ 水口 春樹 (松山市)

早いもので、退職してから九年目に入りました。退職後の第二の就職も八年目に入り、四国・大阪・広島と転々としておりましたが、今は、携帯電話のデジタル化に伴い、四国内を駆け回り回っております。

生活の方も、NTTで鍛えられた単身赴任が大いに役立っております。無趣味が趣味の私は、仕事が趣味と割り切って健康の元は「楽しい仕事」と考え、続けて行きたい思っております。

## ◇ 村上 忠宣 (今治市)

退職して凡そ九年。その間、五年程度コモでお世話になり、今は無職。テレビを見てゴロゴロの毎日である。

それでも妻を亡くしたここ三年余りは、山歩き(月一回のペース)と水彩画に夢中。何せ六〇の手習い、思うように事は運ばない。そのうちに「男の料理」として、何か自慢できるものをマスターしたいなあ、と思う昨今である。

## ◇ 本森 秋義 (砥部町)

退職して早一四年。今、家族は七人です。私は平成二年に心筋梗塞で倒れましたが、三途の川が渡れずに引き返しました。退院後、特に気を付けていることは、冬、部屋のドアを開けて、廊下の温度と同じようにし、トイレには温風機を使っています。

勿論、医者薬は必ず服用し、ニトログリセリンは使わないようにしています。食事療法はしていません。心臓以外は異常が無く、何とか頑張っています。

## ◇ 山内 章 (松山市)

毎日トレーニングジムへ行って、一、二キロ泳いでいます。もう四千キロになるだろうか、新しい友達も沢山出来たし、お蔭様で健康です。

退職日の翌日からテルウエルに勤めて一〇年目、まだ現役です。

久しぶりに地元へ帰ったせいか、町内会、納税組合、公民館、広報関係の仕事等、まあ色々やらせてもらって、毎日が多忙です。これからも頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

## ◇ 山上 昭矩 (宇和島市)

平成三年一月末退職。早くも六年半が過ぎました。第二の人生と決めた仕事を退職直後に失いまして、今や電報配達現役に汗を流しております。

在職時代は、やれ労働基準法が、労働条件がどうのこうのと、本職以外での役割が大きかったわけですが、朝六時から晚八時まで休憩・休日なし、三六五日働

きづめ、旅行等とはトンと縁のないこの頃です。

それでも働けるだけ有り難いと感謝して、娘の手伝いに当分頑張ります。

## ◇ 山崎 忠輝 (松山市)

早いもので退職してから七年が経ちました。その間、CATV、無線工事、携帯電話関係の仕事が第二の職場となりました。在職中は線路屋でしたので、畑違いの仕事は戸惑うことばかりでしたが、真新しい出合いは逆に楽しい毎日でもありました。

その職場とも近々オサラバします。これからは、季節の移り変わりや奇を衒ったモチーフを求めて、少しはましな写真が撮れたらナアと楽しみにしております。

## ◇ 横田 進 (松山市)

第二の職場(四国移動通信株)を退職して五年余りになります。身体は、お蔭様で、一病息災を保っています。

現在は、町内会長、地区社会福祉協議会副会長等、一〇余りの役を仰せつかり、地域や地区のお世話をさせて頂いています。

趣味はランドゴルフ、囲碁、山野を歩くことです。中でもランドゴルフは、毎週四回、町内の方々と近くの公園で楽しんでいます。また、本年五月から、毎月二回、七・五時間程度ですが、郷土史の講義を聞きに行っています。

## ◇ 和田 俊夫 (松山市)

退職して早一三年余りが過ぎました。

九年前、突然病に倒れ、入院生活八ヵ月間で病状も回復し退院ができました。欲を出さず、無理もせず、毎日を送っています。

趣味はビデオ撮り、海釣り（沖釣り）、山草の栽培をやっています。山草は、北海道から沖縄までの栽培の容易なものを選んで育てています。なかなか忙しい日々です。

ボランティアア松山OB会の催しにも参加していますが、年に数回しか参加出来ません。これからも健康に気を付けて楽しく頑張りたいと思います。



### 香川

#### ◇ 有馬 賢二 (大内町)

退職して七年が経過しました。二年半前に胃の切除手術をして以来、毎日六ヵ程歩いて体力回復に努めております。それまで勤めてきた地方議員（町会）も自治会長も引退して、のんびりと過ごしています。

四国霊場八ヵ所参りを終え、今は西国三三観音参りに行っています。

体調も大分回復してきましたので、これからは、旅行（温泉巡り）等に行ったりフレッシュしたいと思っています。

◇ 石川キミエ (長尾町)  
退職して一年。孫の世話に大変な時期もありましたが、お蔭様で健康に恵まれました。先日七回目の四国遍路の旅を終えました。

三年前から草木染を始めました。同好会の皆さんと染料の植物を尋ねて山歩きを重ね、日の当たらぬ山陰に、ひっそりと咲く美しい野草との出会い、その小さな花にも名前が付いている不思議さ、道端の雑草から想像もつかない美しい色が染まっては感動。失敗しては落胆。体験しながら、自然から生まれた色を楽しんでいます。

#### ◇ 井上 昭信 (坂出市)

月日の経つのは早いもので、退職して一年になりました。今年も念願であった四国遍路の二回目を、やっと果たせました。

家では健康のために畑を二〇アール余り借りて、色々な野菜を栽培しています。種から育てて収穫まで自然を相手に苦勞も多いですが、楽しいものです。

沢山取れた無農薬野菜は、親類や知人に配って喜ばれています。また、OBの園芸クラブのお世話をして、会員の方と花を作ったり旅行をして楽しんでいきます。

#### ◇ 大西章次郎 (丸亀市)

平成元年春退職。第二の職場も薦めてくれましたが、少し休んでからと思っていたら、平成二年正月に高血圧で倒れ、幸い大事には至らなかつたですが、その後養生に専念し、特に体重を減らし血圧

を下げるため、散歩を毎日行いました。その結果、体重も血圧も良くなりましたが、体重が増加して血圧が高くなり、またやり直します。特に寒いときの健康管理に困っている昨今です。

#### ◇ 小野清八郎 (善通寺市)

電友会のお仲間入りして、アツという間の一〇年が経ってしまいました。

現役時代から丸亀で始めた謡曲のけいこと、退職後に市民講座で始めたヨーガと書道の練習をずっと続けています。

最近、ふと思いついて、自転車で近くの野山の散策を始めました。そのうち四国の道へ挑戦をと考えています。

日暮れて道遠しというところですが、どうなりますやら、安全第一、健康第二でポチポチ頑張ります。

#### ◇ 兼松 政人 (観音寺市)

平成元年に退職。以来、俳句、書道、囲碁、そして旅行と専ら趣味の世界を楽しんでいましたが、三年余にわたる付添い看護も空しく、昨年末に伴侶を失いました。

今は、地区社会福祉協議会や市自治会連合会の役員のほか、この四月からは地元公民館長（市嘱託）として、地域の行事や生涯学習のお世話に忙しい日々をおくっております。

今後も元気な間は、地域の世話やボランティア等続けさせて頂くつもりです。

## ◇ 喜多健之進 (高松市)

平成二年二月二日の午後一時頃、急に胸を締めつけられる様な激痛に襲われ、じっとして居れない状態になりました。早速N T T高松病院へ電話したところ、直ぐ来るように言われたので、タクシーで駆けつけ、藤井院長に治療して頂きました。

朝になると救急車で中央病院へ行き、集中治療室で三日三晩うつろうつろしていました。何とか命拾いを致しました。その後、カテーテル検査で左心室に瘤を発見。手術をすることになりましたが、輸血は高松ネットワークセンターの若い方々から貴重な血液を頂き、手術は無事成功致しました。順調に回復し、手術後約一ヶ月で退院。現在は、民生委員総務、公民館講師、野鳥観察、表装など多忙な毎日を送っています。

## ◇ 久米 信雄 (津田町)

退職して一二年。古希を迎えました。現在、自家用野菜作りをベースにして、気儘に暮らしています。

長男一家は東京近郊に居ますが、近くにいる娘に、幼稚園を頭に男ばかり三人の孫がいるので、妻と共に手助けをしています。

退職時の体調を崩した時期に受講した太極拳とヨーガは、生涯の健康法として続けています。

老人クラブに仲間入りをしてから一〇年。会計係として、春秋に温泉地で観劇を楽しんでいます。

## ◇ 香西 正夫 (高松市)

退職してからの一番の思い出は、レイテ島で戦死した妻の兄の現地慰霊祭に参加したこと。アルペラ町役場前に残されている二門の、撤退に際して自爆させた野砲を見た時、直接指揮官が義兄だっただけに、また、遺骨が帰ってこないだけに、「知っているなら語って欲しい」と思いました。

二年前、胃の手術をしました。一応無理をしないならやって行く自信も出来ました。「二度と無い人生だから」残された人生を有意義にとの気持ちでいっぱいです。

## ◇ 河野 照見 (高松市)

N T T高松支店を最後に現役を卒業してから早いもので七年。在職中、販売部門の仕事をしていた関係で、現在、代理店として携帯電話等の販売に明け暮れている今日この頃です。

忙しいときは時間に追われ、昼食もなかなかとれないときがあり、嬉しい悲鳴です。

地域では社会福祉協議会、地域推進委員等の仕事を、趣味としては詩吟もやっております。現役のときより友達がぐんと増えました。

今後も前向きな気持ちを忘れず、頑張りたいと思います。

## ◇ 佐藤 実 (志度町)

早いもので退職して二一年が過ぎた。体力の衰えも分かるようになった今日、二、三の医者のお世話になっているが、あ

まり気にしないことにしている。

寿命がくればお迎えが来てくれる。それまでは、毎日、起床してから今日の仕事を考え、思いつくままにのんびりと行動することにした。

月一回の四国霊場参り、一泊二日程度の小旅行と少しの菜園の手入れをして楽しんでいる。会員の皆さんのご健勝を祈ります。

## ◇ 塩崎 國夫 (飯山町)

退職して一三年になりますが、八年間程、日本棋院坂出支部のお世話をさせて頂き、囲碁の普及と仲間を増やし活力ある囲碁の町造りを目指してきました。

幸いなことに、三年前、朝日新聞社主催の囲碁十傑戦香川県大会に入賞することができ、励みになっております。

現在は、坂出市から飯山町に四年前移築して、若夫婦と四才になる孫と老夫婦の五人家族で同居しております。

毎日元気で、囲碁仲間と家で、また、福祉センターで、囲碁を楽しんでいます。

## ◇ 志賀 敏男 (善通寺市)

退職して三年になります。退職後取得したビル管理技術者の資格が縁で、ビル管理会社にお世話になり、昨年、近くに開店した大型店のビル設備のメンテ等を担当し、二百人余りの若い店員さんと共に楽しく働いています。

昨年は、三〇年続いている趣味の仲間五人でヨーロッパとオーストラリアへ各二〇日間、お宝探索に行き、いい旅とい成果がありました。次は東ヨーロッパ



への旅と、趣味を活かした仕事への飛躍を目指しています。

### ◇ 杉野 三勇 (高松市)

会報を拜見し、時にはお世話になった方々を懐かしく思い出しております。退職して九年。この間、数回の転職をし、現在はTE香川支店という良き職場に恵まれ、社員の皆様にも大変お世話になり楽しく勤務しています。

今年、香川県より長寿手帳を頂き、老人と言われる年齢に達したと思うと、少し寂しい気持ちですが、何時までも若い気持ちで働くことが、第一の健康法と思ひ頑張っています。

無趣味な私にとっては、時折、子供や孫達と一緒に食事をする一時が、一番の楽しみとなっています。

### ◇ 資延 隆 (高松市)

会社発足三年目の昭和六三年に退職、その後、四国整備備で七年間お世話になり、現在はドコモ四国の監査役(非常勤)のほか、OB関係のお手伝いや友人の経営コンサルタント事務所を手伝うなど、結構忙しい日々を過ごしております。

一方、長い間押入れのダンボールで眠っている雑書も整理しなくてはとか、現役時代中断していた油絵の勉強もしたいなどと思うだけで実行できない毎日です。

### ◇ 永江 典男 (観音寺市)

私は、公社退職と同時に電報配達請負者として今年六月末まで、一四年間務めさせて頂きました。

そのため何処かへ旅行したいとか、趣味等続けようとしてもなかなか時間がとれず思うようになりませんでした。

今からは毎日が休みです。健康に留意しながら旅行や趣味等を楽しんだり、また、ポケ防止のため時々アルバイトもしながら、楽しく心豊かな第三の人生を過ごしたいと思っております。

### ◇ 直井 稔 (丸亀市)

退職して早九年目になりました。昨年の第二の職場も辞めマイペースで過ごしていた矢先に狭心症になり、バイパス手術のため二ヵ月余り入院生活をしました。

現在、自宅で塩分、糖分控えめのカロリー制限食でリハビリ中です。幸い、体調もいいので一日一万歩を目標に、丸亀城の周辺を歩くのを日課に頑張っています。

涼しくなる秋には、下手なゴルフにも再挑戦してみたいと思っています。

### ◇ 中村 一也 (琴平町)

髪……昔風に言えば胡麻塩頭。今時の表現ではロマンズグレイ? 目……新聞等は老眼鏡を要す。耳……子供達が帰省時TVの音量が高いと言われる。歯……差し歯、入れ歯のお陰大なり。記憶力……アレはどうした。アイツ誰やったか? この花の名はアノ。アレ、アイツ、アノ

の連発。楽しみ……月数回、芝刈り、草抜きに精を出している。腕前、距離ともダウン。まだ老け込む年ではないと、身体を動かしポケ防止に努めている。私は今です。

### ◇ 中山 忠彦 (高松市)

最近見たテレビドラマの中で、「登山の喜びは」との問いに、「感動をもたらす自分の丈夫な足」と答えていた場面があり、今年三月に足を怪我した私は、まったくだと実感しました。

四年前にテルウェルを退職してからも、多くのOBの方々と一緒にボランティア、ハイキング等を、また、家では俳画、園芸と多忙な毎日を過ごしていますが、これも健康なお陰だと感謝しています。近郊を探訪しての一句。

冬萌や風雨にたえし砦跡

### ◇ 西川 静子 (坂出市)

地元のほがらか体操、六葉大学、仏教婦人会、古典を読む会、囲碁教室生徒、点訳奉仕員、旧友とのお喋り、カラオケぶっつけ本番、その合間に家事をしています。

新しい発見に出会うと感激ですが、次には前の事を殆ど忘れていきます。一日が短く、退職して九年目に入りました。高コレステロール(血症)を抱えています。が、「幸せな気持ちよ何時までも」というところです。懐かしい方、まだお会いしていない方、どうぞお元気で。

### ◇ 濱口 忠士 (引田町)

忙中閑晴耕雨読の夢があり、たまには趣味三昧の暮らしを楽しみたいと思うのは贅沢だろうか。

退職後、未だその実感は無い。それが現実なのかも知れないが、ともあれ、そんな夢がある間は健在な証かも知れない

と自分を慰めている。

己には、多趣味なのか欲張りなのか分からぬが、人間が骨董になったせい、最近では古いものが好きになった。それは先人達の積年の知恵が凝縮されているから……かといって、この年になってのめり込む気は更でない。それに先立つ物が無いのが幸いである。むしろ、これが本音かも知れない。

#### ◆ 本津 峰雪 (高松市)

昭和五七年に公社を退職し、翌年から第二の職場として、香川県防災通信に六年半勤め、六五才定年で退職しました。それ以来、みかん栽培で、施肥、雑草、病害虫防除、そして収穫、出荷と早くも八年が過ぎました。

家族は私達老夫婦と息子、嫁。内孫は三人で、長女は大学卒業後、四月からサラリーマン一年生、次女が大学一年生、長男が中学一年生、と七人の大家族。みんな元気で、それぞれが主義主張を話あえる大人の生活を楽しんでおります。

#### ◆ 溝渕キミ子 (高松市)

電電公社退職後、約二年の月日が流れ、その間、元の職場は近代化して、現在は今浦島となり、今昔の思いは想像を超えるものがあります。

表現の自由な時代となって世相も変わり、人の考え方も変わり、ただ過去を懐かしむ昨今です。

今は齢を重ね、何も出来ないように思いますが、公社にお世話になった日々を思い、感謝の気持ちで過ごしています。

今後共宜しくご指導下さい。

#### ◆ 三宅 聡 (琴平町)

妻を亡くして五年。現在は所謂「独居老人」暮らし。再婚話も有るにはあったが、面倒臭いと一人娘の手前もあって、再婚はしないと決意している。

従って、僅かな年金収入で、細々と日々を根気よく過ごしている昨今である。そして日々の過ごし方といえば、「書」と「画」の趣味に浸る他は、電電OBでつくっている「歩こう会」に参加すること。やさしい兄と姉がいて楽しい。

#### ◆ 宮脇 秀行 (高松市)

平成元年に退職。待っていたとばかりに、自治会長、納税組合長、衛生組合長、交通安全推進指導員、香川県国民年金委員等々、地域のお世話を仰せつかり、家業の手伝いとして、香粧協理事長等も務め、毎日、退屈しない日々を送っております。また、健康保持のため、無農薬野菜作りと鳥骨鶏の飼育もしています。

この間に、毎年、香川大会、四国大会等があり、これを利用して全国各地の旅行も楽しんでいきます。

#### ◆ 森田 正雄 (高松市)

私は今七四才。お蔭様でいたって健康。先ずこのことに感謝したい。

私が、拓本の美と魅力に引かれて早くも一八年が過ぎた。全国各地の文学碑を探し求めて採掘した思い出は、とても懐かしく忘れることは出来ない。一つひとつの作品に、「人との出会い」、「自然

との出会い(雨・風・大地・太陽)」が重なり感激もひとしおである。

これからも拓本を通じて、地域文化の向上、そして心豊かな明るい社会づくりに、微力ながら貢献したいと念じている。

#### ◆ 山下 昌子 (高松市)

会報を楽しく拝見させて頂いております。繰り上げ退職して一年。夫の転勤に従い三回転居。高松に至っています。

近くに栗林公園があり、四季折々の庭園の散策を楽しんでいます。また、「讃岐うどん」も好物で、片田舎の看板もないうどん屋でも、美味しいと聞くと体重を気にしながらも足を運んでいます。

今年一月には初孫が生まれ、「おばあちゃん」の呼称に抵抗を感じながらも、週末に会えるのを楽しみにしている近頃です。

#### ◆ 山路 泰石 (香川町)

退職してから七年が過ぎました。この間、身体の方は白内障の手術等を行いました。慢性的な腰痛、緑内障等もかかえており、病院とは縁の切れない日々です。

仕事の面はTE四国のすすめ、調査関係を請負でさせて頂き、今もって現役の気分を味わっております。

その他、ボランティアや囲碁クラブへの参加では、OBの方々のお世話になりながら楽しんでおります。

#### ◆ 湯浅 静雄 (高松市)

NTTを退職して早八年。二〇年来の

胃病と付き合いながら六年余り勤めた第二の職場もこの春退職し、やっと自由の身になりました。

最近では、体調も大分快方に向かい、親しい友人三、四人でのゆったりとしたマイカー旅行を楽しんでいます。

また、この秋には、長年の夢であった小学校の修学旅行を五〇年振りに実現しようとして、その計画で忙しくしています。これからは一病息災、趣味の手習いにじっくり取り組みたいと思っています。



### 徳島

#### ◇ 旭野 明 (徳島市)

四七年間、電気通信関係事業の仕事をさせて頂き、数多くの皆様から助けられました。四月からフリーの身となりました。皆様への感謝の気持ちで一杯です。

まだ、曜日や時間が我が身を支配していることにハットさせられますが、これからは、時間とお金、そして健康をうまく調整しながら社会に役立って行こうと思っています。

趣味はゴルフとアマチュア無線を続け、ゴルフはシングルを、無線は一万局交信を達成したいものです。

#### ◇ 秋本 陽司 (石井町)

三年前に、先輩のご配慮によりテルウエルに再就職し(一一五番電報受付)、大勢の女性に囲まれ気分一新、楽しく仕事をしております。

心なしか体も若返り、ゴルフの調子も冴える一方と言いたいところですが、成績の差は激しく、周りからは好みな目で見られております。

こんな私ですが、職場では明るいまードメーカーとして、自他共に認めるひょうきん者。雰囲気づくりには大いに役立っていると思っております。

#### ◇ 石橋 資史 (徳島市)

光陰矢の如しとはよく言ったもの、退職して早一三年が過ぎました。

元気で長生きしたいですから、毎朝のラジオ体操に、朝五時に起き、五時を五分でウォーキング。早朝の空気は美味しく感じます。歩きながら、たまには四季折々の俳句も作りますが、発表する句には至りません。

また、毎年一、二回は日本の名山に登り記録写真を撮りつづけています。今、山登りが一番の楽しみです。

#### ◇ 小笠原幸雄 (徳島市)

退職して早六年。その間、NTT関係ではユーザー協会の仕事、OB会・旅行クラブ等の活動のほか、PHSの電柱敷地折衝等もさせて頂きました。

地域では自治会活動に参加。現役中にはできなかった地域との付き合いに努め、清流、海部川を守るため、農業集落排水

事業にも協力しています。家事では、海部町で果菜類を作り、小型耕運機等、農業用具の調達で採算はとれなくても健康のためと割り切って、出張栽培に精出している次第です。

#### ◇ 角野 陳明 (徳島市)

退職後一八年。生長の家徳島教区事務局長、ポケットベルの嘱託、徳島電友会事務局長など務めて、今は自分の時間があるようになりました。

ずっと、ボランティアみたい、徳島生命学園の副園長として、小学生を対象とした「生命の教育」に携わってききましたが、六月からは古文書の勉強を始めました。徳島には古い時代の遺跡が沢山ありますので、それについても勉強して行きたいと意欲を燃やしております。

#### ◇ 川島 浩 (徳島市)

昭和二六年入社。高知話を振出しに、その後搬送に移り、相生中、高知中、徳島中へ、三五年に円座統中を最後に武蔵野通研に転勤、五三年退職。NECに移り、一五年間海外事業を体験して、四年前にUターンして、古里徳島の四国大学で教職についている川島です。

帰っては来たものの歳月の経過は厳しく、正に浦島太郎の心境です。昨年四国電友会にも入会させて頂き、名簿やらニュースに懐かしい名前を時折拝見して、出来れば、旧交を温めたく思っております。機会があれば、お声をおかけ下さるようお願い致します。

徳島に居を構えて老妻と住んでおりま

す。幸い、毎日若者と付き合えるので、そのエキスをもらってやや血糖値が高い以外は異常なく、本務以外の雑用にも追われております。是非、また皆様の仲間に入れて下さい。

#### ◇ 栗栖 博文 (徳島市)

退職してから早一四年が過ぎました。その間、色々な出来事や思い出で一杯ですが、現在は、自宅と藍住にそろばん塾があり、幼稚園から中学生までの子供達を相手に、一週間休みなしで頑張っています。

月曜日以外休みがないために、色々な退職者の会には出席出来ませんが、元気にしております。また、仕事の合間に町内会の会計やら、小松島日赤心臓友の会のお世話もしております。

#### ◇ 児島 貞雄 (徳島市)

退職後数年の間に、胃癌の手術と心筋梗塞を相次いで患いましたが、幸い命拾いました。

今は定期的な検診と薬の服用は続けていますが、体調は回復し、健康が一番幸せだと感じております。

毎日の生活では禁煙、節酒、腹八分目を心掛け、気楽にのんびり過ごすことを信条に、その日暮らしを楽しんでいます。

週三、四回のウォーキングと月三回程のゴルフに汗を流し、折々にはドライブや小旅行で気分転換を図っています。また、OBボランティア活動やテルウェル主催の各種行事には、極力参加しています。

#### ◇ 田岡 正喜 (東祖谷山村)

一九八〇年退職で、早くも一七年になります。在職時からの趣味の囲碁は、現在、五段の免許を取得。建設機械会社の営業所長五年と村教育委員二期を経験。法務省人権擁護委員(一二年)、村社協理事、交通安全協合理事(一一年)、郷土歴史研究会幹事(八年)、その他各種団体に所属し活動を続けております。野菜類は自給自足で余分は近所に配り、庭木の手入れと池の錦鯉(五〇尾)の世話等、多忙な毎日を過ごしております。

#### ◇ 谷 精 (貞光町)

退職後八年が過ぎ、確定申告で老人特別控除を受ける齢となり、時の流れが早過ぎる昨今です。五年前からN.T.T・T.Eで電柱敷地折衝等の仕事をさせてもらう傍ら、電友会の地元OB会の役員、地域では納税組合の役員、神社総代等々。お陰で今のところボケる暇もありません。ただ、お客との折衝の中で色々聞かれ、昨今のニューメディアに追いついて行けず、タジタジの体たらく、時代の移り変わりを実感しています。

#### ◇ 橋本 慶子 (勝浦町)

早いもので退職して早七年。お蔭様で大病もせず、一病息災で頑張っております。

退職したら二人でいろんな所に旅行しようという計画を立てていた矢先に、主人が風邪が元で腎臓病を患い、やむなく透析をする羽目になり、今年で一年目に入りました。

これからも無理をせず、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。

#### ◇ 浜 喜忠 (徳島市)

皆様お元気ですか、早いもので退職して徳島市内に安住の地を得てから一三年になりました。

小旅行を兼ね、全国各地持ち回りで開催されている旧満州電電の同期会に出席し、人生を楽しんでいます。

現役の時からパージャ病、糖尿病と、一生病氣と縁の切れない仲間になり、病院とは付き合っています。そんなことで、毎食後三〇分位町内を散歩し、健康維持に努めているこの頃です。

#### ◇ 原田 昭 (徳島市)

徳島に帰ってきまして一二年。お陰様で元気に過ごしています。

出身地ですので、気楽に土地改良区の理事、神社総代とかをやっています。長い間離れていたもので、知らないことだらけですが、皆に助けられながら過ごしています。

四〇年余り続けている日本舞踊は今も精進を続けています。六年位前から先輩に勧められて俳句を始めました。いずれも、もっと才能が欲しいところです。

#### ◇ 福永 博年 (徳島市)

私は今闘病のため、朝五時から五〇分(約三キ)、夕方四〇分(約二キ)を歩き、運動療法を続けています。

これもできるだけ家族の厄介にならないようにするための一つの方法と考え、

自分で自分を納得させております。趣味としては、ヘボ碁に週二回通うことと、少々の畑を耕しております。野菜は手入れをすればする程よく育ち、耕作者を楽しませてくれます。何とも気持ちのよいものです。皆さんやってみませんか。やってみないと本当の喜びは味わえません。後は孫（男）今年大学に入学。女（今年高校に入学）の成長を楽しみにしております。

◇ 的場 貴子 （小松島市）

朝、植木鉢に水をやり花の咲くのを楽しむことから一日が始まります。日中は様々ですが、友とジョッピングを楽しみ目の保養をしたり、趣味の布人形教室で作品を作り、満足したり反省したり致しております。夜は卓球で汗を流す。対戦相手とは実力伯仲だと思っている私と、技は数段上だと思っている主人。共に競い合いながら下手な卓球を楽しんでいる昨今です。

高知

◇ 柏井 政信 （高知市）

退職して早一九年。過去を振り返ってみると、現役時代より宝町少年団会計、宝町自治会監査、民生委員、江ノ口社会



福祉協議会社会部長等を務めてきました。現在では健康上の理由により、江ノ口第五長生会副会長を務めるだけとなりました。

日々の生活においては、アルコール性肝炎、脊髄圧迫損傷で通院しております。が、天気の良い日には山畑一反を妻と二人で耕作して、自給自足で頑張っております。皆様お元気で。

◇ 梶田 留喜 （土佐山田町）

退職から早七年余りが経ちました。その間、テルウェルで四年間お世話になりました。今は出勤のない毎日です。

もっと朝寝坊をすればいいのに、齢のせいから早くから目が覚めます。五時半頃から、ラジオを聴きながら美味しい空気を吸って歩いています。六〇過ぎての手習いは、なかなか巧く出来ませんが、健康のための体操やダンス、それにお習字、陶芸などを楽しんでいます。皆様のご健康とお幸せを祈ります。

◇ 片岡 利彦 （佐川町）

退職して早くも一年が過ぎました。お蔭様で健康にも恵まれ、現在も関連会社でお世話になり、SO工事等の所内作業で頑張っています。

休日には家内と二人で、五〇アール程の水稲の栽培と、自家用の野菜作りをしながら、孫三人の成長を楽しみに、汗を流しています。

趣味の寒蘭の採集や沖釣り等も、足腰の達者な内に再開したいものと思う、今日この頃です。皆様の健康とご多幸をお

祈りします。

◇ 川田 穰 （高知市）

現職中から興味があり、取り組んでいた中国との友好交流事業にいま没頭しております。訪中も一七回に及び、一〇月末には長江三峡下りと、高知市の友好都市安徽省蕪湖市に行く予定です。

新しい世紀はアジアの時代と言われ、特に日本と中国との人的文化的経済的交流は、一層重要になると思います。元気でいる限り、日中友好促進のために尽力したいと考えております。会員諸兄のご健勝をお祈りし近況報告と致します。

◇ 小松 茂美 （高知市）

退職して早一〇年。第二の職場も平成八年四月で退職しましたが、その二カ月前に胃ガンで、三分の二摘出手術をしました。

また、今年一月、大腸ガンで横行結腸まで摘出手術を行い、その後、入院退院を繰り返して、現在は、お蔭様で、毎日散歩したり、体調の良いときは近くの温泉地へ小旅行したりして楽しんでおります。少しずつ健康を取り戻し、人生をプラス志向で生きて行きたいと努力しています。皆様のご健康とご多幸を祈ります。

◇ 末永 雄一 （高知市）

皆様御無沙汰しております。退職して早くも一〇年になります。

退職してすぐに新日本自動車電話機へ就職。途中、合併、改称を経て、平成六年三月、NTTドコモを卒業。一〇ヵ月

程休養期間を取り、続いてN T Tパステルで二年半お世話になり、今年七月から日本メックス(株)で、比較的元気に(病院通いもしながら)働かせてもらっています。結構歩きますので、健康にも良いと思ひ頑張っています。

皆様も元気で過ごして下さい。

◇ 武崎 一夫 (伊野町)

早いもので、退職して一三年余りになりますが、その間、大した病気もせずにご過してまいりました。

今は、以前から望んでいた果樹園(柑橘に柿等、一・八ヘクタール)の経営に老骨に鞭打ちながら取り組み、妻と共に多忙な日々を過ごしております。

会員の皆様方のご多幸とご健康を祈念申し上げます。

◇ 武田 勝定 (高知市)

第二の職場(テルウエル・タウンペーリアド)で七年間勤め、平成五年に退職しました。

昭和五六年に胃、平成五年に胆嚢手術で無理の利かない体ですが、二年前から電友会の事務局へ隔日出勤。また、ボランティアグループの事務局を担当。地域での保護司、町内の世話役等元気で動いています。

ときには、テルウエルOBセンターの仕事や国内外の旅行に、妻やグループで参加。結構多忙なスケジュールを消化しています。

◇ 竹森 勇喜 (野市町)

退職して一三年目になります。この間、第二、第三の勤めも終え、また、地域住民として地区自治会等のお世話もしましたが、今は高齢者クラブのお世話をさせてもらっています。

一方、書道を通じ、二年に一度の中国訪問と中国書道家との交流を、唯一の楽しみに精出しているところです。

忙中閑あり、閑是室といったところですが、一日の慰労は年中変わらぬ憫をした晩酌です。古希に向かいて康に、日晩れて平安を謝す。

◇ 近澤晶二郎 (佐川町)

退職後七年。共済会でお世話になり五年目になりました。病気一つせず至って健康、元気で毎日をご過しています。

この四月に初孫誕生。可愛くて可愛くて、夢の中にまで出て来ます。今年の夏は夫婦で富士登山を、秋にはN T T仲間と九州旅行を計画しています。

三五年間書き続けてきた日記を焼却。後を振り返らず、何事も前向きに頑張ろうとの心意気です。

◇ 筒井 利喜 (高知市)

会報一〇〇号の節目に投稿できて幸せです。私もお蔭様で、今春古稀の峠を無事越しました。

最近、家内から「お父さんは少し愚痴っぽくなった」とよく言われ、自分でもやはり年かなと、苦笑することしばしばです。

高血圧、糖尿病、とほどほどに付き合

いながら、月二回の謡曲のおさらい会を楽しみに、ごく平凡な明け暮れです。

同時代を共に励んだ諸先輩・諸兄のお元氣な姿を思い浮かべながら、皆様のご無事を祈るばかりです。

◇ 豊永 敬子 (大豊町)

退職して八年になります。退職した翌年から民生委員、女子相談員の役を頂き、地域のお年寄りや児童との交流、給食サービスの弁当作り等、微力ながら触れ合い町づくりのお手伝いをしております。

趣味としては、毎週月曜日に大正琴、金曜日に社交ダンスを習っています。また、主人の指導で写真を始め、平成七年の嶺北美術展では、まぐれで特選になりました。

今はサツキの植えかえや芽摘みに多忙な毎日です。皆様もお体を大切に、お元気で過ごして下さい。

◇ 廣見 茂 (須崎市)

皆様お元氣ですか。早いもので私も退職して早九年目に入っています。今は、通信土木コンサルタント(株)にお世話様になりながら、地区の世話役と、釣り、盆栽、土佐寒蘭栽培に熱中しています。

本年は二人の息子に同時に初孫が生まれる予定となり、良き祖父母となるよう家内と新しい生命の誕生に嬉しい日々となっております。

今は皆様に感謝しながら、少しでも社会に役立つ事が出来ればと、「万事塞翁が馬」の心境で過ごしています。

## ◇ 藤岡 登 (高知市)

退職して一〇年が過ぎました。退職後、民間会社に勤めていましたが、腎臓手術で五年間で退職しました。手術後、NTT当時からの高血圧も正常に回復し、元気に毎日を送っていました。妻が脳梗塞で入院し、今は自宅で炊事などしていますが後遺症で、一日中鈍痛に苦しんでいます。

今の医学では、痛みを治す術はないとの事ですが、四〇年間苦勞をかけた妻の痛みを治せないかとアチ、コチ駆け回っているこの頃です。皆様方のご多幸をお祈りします。

## ◇ 山口須磨子 (土佐市)

孫からの電話で、発表会や運動会、それに参観日と聞けば高知市まで駆けつけ、若返らせてもらっています。

その分、わずかな庭や少しの借畑が、雑草との追い駆けっこで大忙しです。

新聞も本も読み、テレビも見て、たまにはショッピングもと退屈する暇もなく、元気に暮らしています。

孫の目からは「花作り名人」に見える様で、なおさら張り切って庭や畑に出向く日々。金さん銀さんとまでは言いませんが、ボケずに充実した年を重ねたいと思います。

## ◇ 山本 敏史 (土佐清水市)

何時も皆様の投稿文を楽しく読ませて頂いております。

私も退職して早くも一〇年となり、社会でいう老人仲間となりましたが、まだ

まだ健康に気を付けて頑張っています。最近では好きで始めた舟釣りにこり、毎朝四時頃から仲間と沖へ出ています。

漁も少なくなりましたが、広い太平洋で魚を探して釣りをしている時、また、釣り魚を近所へあげる時が最高の幸せと思っています。

皆様の健康を祈っています。

## ◇ 前田 二郎 (高知市)

退職後、現在は第三の職場でお世話になっていきます。

五年位前に風邪をこじらせ入院。検査を受け一年間(月一回)通院。その間に老後の健康管理の大切さを痛感し、近くでハイキングコースにもなっている山に登っています。頂上からは、高知市内や遠く四国山地が一望でき、視野に入った山に登っているうちに段々と山の魅力に取りつかれ、四国百山にどれだけ登れるか挑戦中です。

これからも健康第一で、旅行や登山を楽しみたいと思っています。

## ◇ 松澤 孝 (窪川町)

退職して一三年余。この間、関連会社勤務、その後、北海道小樽での転居生活など色々ありましたが、三年前から古里の地へ帰り暮らしております。

かつて賑わった駅前・商店街もすっかりさびれて昔日の面影はありません。わが家の二階から見えた電話局の灯も消えました。

しかし、暖かい人の温もりは、今もこの街に残っております。五、六年前か

らカメラ再開。今、四万十川流域の四季を撮っております。

## ◇ 溝渕 宗俊 (安芸市)

退職して一八年目に入りました。持病の喘息には、これからも仲良く付き合っ

て行きたいと思っています。

健康保持のため、週三〇キロを目標にして歩いています。退職二年目から公衆電話会の手伝い(会計)や、毎月の無縁塔(墓石)の清掃奉仕に参加したり、また、五年位前から、良いリーダーのもと、海浜や河川等の清掃ボランティアに参加させてもらっています。健康に留意し、この活動を通じて余生を有意義に送らせてもらいたいと思っています。

## ◇ 宮川喜美枝 (大方町)

退職して一二年目の初夏を迎えました。時の流れの早さに驚いています。

現在は農業に専念しています。町から六キロ程北へ入った山間の地で稲作、果樹(栗、梅、柿)等を栽培しています。

他には、町の選挙管理委員や婦人会役員、ボランティア活動等をしています。趣味として詩吟、短歌、俳句等を勉強中です。こんな生活ですので、割合に多忙な日々を元気で過ごしています。これからも健康に気を付けて頑張っていきたいと思います。皆様も元気で過ごして下さい。

## ◇ 森岡 勸 (室戸市)

退職して早二〇年が過ぎましたが、振り返るとこの間、何をして来たか? 敢えて言えば、退職後四カ年程、地区の常会

長をやっていたことぐらいかな。  
以来体調が余り良いとは言えず、近所の医院へ週二回行くのと高知市内の病院へ一カ年に四、五回行き身体の検査、治療等の明け暮れでした。

少しでも体調保持のため、毎日一時間程の散歩をしたり、一六〇平米程度の自家菜園で野菜の手入れをしたり、時間がゆるせば近所の友人のところへ行き雑談にふけったりしています。

第一〇〇号発行を記念して、一〇〇名の方から原稿を頂こうとお願いしたところ、一一〇名の方の原稿が集まりました。  
全員の原稿を掲載すると共に、ご協力下さいました皆様、心から御礼申し上げます。



### お知らせ①

#### 事務局からのお願い

#### ○会費の早期納入について

会費の納入が遅れている方がいます。失念されているのではと思いますので、再度、請求させて頂きます。  
毎年、四月に請求させて頂いておりますので、早期納入について、ご協力下さいますようお願い致します。

#### ○名簿の住所等の確認について

平成九年の会員名簿ができました。新しい名簿をお届けしますので、各人の住所等を確認して下さい。  
住居表示の変更等の連絡がないため、旧表示のままとなっているのではないかとと思われる方がいます。宜しくお願い致します。

なお、郵便番号を七桁に変更する関係もあって、来年の名簿は、パソコンに各人の情報を入力しておき、その情報をベイスにして作成する予定です。

情報を入力する前に、訂正箇所があれば直しておきたいと思えます。ご協力をお願い致します。

#### ○是非知っておきたいこと

名簿の冒頭に、是非知っておきたいこと（事務局からのお知らせ）を掲出してあります。

会員必見のページですので、お見落としのないようにお願い致します。

#### ○弔慰金・見舞金について

会員に対し、弔慰金や見舞金を贈与する場合は、会員名簿に掲出している会則の通りですが、皆様からの連絡がないと、事務局で把握できない場合もございます。何時もご協力頂いておりますが、今後とも宜しくお願い致します。

#### ○会員のボランティア活動について

自ら進んで地域振興、社会福祉、自然環境保護、教育・文化振興、スポーツ振興等の各分野で、奉仕活動に専念されている方がいるのに感激しております。

電友会では、長年にわたりこうした活動に地道に汗しておられる方々を会の誇りとし、「電友会ボランティア活動賞」を贈って、N T Tの社会貢献活動を側面に支援することにしております。

当会では、今年も八月末に二名の方を、ボランティア活動賞候補として、本部へ推薦致しました。

皆様のお知り合いの中には、ボランティア活動に生きがいを感じ、長年、グループで、或いは個人で、日々の困難を克服して活動されている方がいらっしやるのではないかと思います。

事務局では、各分野で、ボランティア活動に取り組んでおられるグループや個人の顕彰に努めておりますが、会員の皆様からのご推薦にも期待を寄せております。

どうかこの会の趣旨にご賛同頂きまして、ご協力賜りますよう、宜しくお願い致します。



サークルだより

日尾クラブ

和氣 康巳（松山市）

昭和五二年一〇月八日、松山市久米地区のOBが創立集会を開き、二三名が出席した……との投稿記事が、当時の電友会会報にみられます。

生涯学習、親睦、健康増進をねらいとした当クラブは、丁度二〇年を経ることになります。今、会員は六〇余名です。

当初は、対象を久米の一部地域のみとしたこともあり、地域の氏神様「日尾八幡」に因んで「日尾クラブ」と名付けたという創立時の世話役・水野さん（満八七才）は、今もかくしゃくとして各種行事に参加され、同じ明治生まれの泉さん（九一才・元電友会長）、市岡さん（八九才）の大先輩も健在です。

前・現電友会長の六車さん、西本さんも当クラブのメンバーです。

また、当地域のいわゆる町内会の運営、公民館活動、ボランティア活動等の要職には、何時も必ずと言っていいほどに、会員の名前がみられる地域に密着したクラブでもあります。

さて、当クラブの最近の活動状況ですが、行事は四季各一回、一月は総会・新年懇親会。四月は花見懇親会です。近郷の名所へ遠出することもあります。

七月は夏季勉強会で、講演会、会員卓話、映画・ビデオ鑑賞等を行います。講演会は、住職、市の生涯学習教育講師、N T Tやテルウェルの幹部等に講師をお

願っています。また、秋季勉強会には行楽を兼ね、一日行程の文化財巡りや、施設見学等で、今年は一月に伊方原子力発電所を見学する予定です。

世話役は四名で、任期は二年。毎年二名が交代する仕組みです。万一の会員訃報は、会員全員へ電話連絡します。

会費は年一千円。各種行事の参加費は、その都度決めますが、懇親会の場合、三千〜五千円の負担はやむを得ないところ。行事は、家族連れ歓迎としており、毎回、総勢三〇〜四〇名となります。

活動の概況はこんなところですが、当クラブの特徴として、「回覧ノート」があります。

この「ノート（A5サイズでバインダ―式）」を全員に予め定めた順序で回覧し、それに会員個々が近況、意見、感想、その他なんでも、全く自由に記述して順送りするというものです。

暑い、寒い、水不足の苦勞、丹精した庭の花の話から、八十八カ所参り、小旅行、海外旅行、趣味、それに孫の話や社会の出来事、とりわけ悪に対する悲憤慷慨等々があるわけですが、勿論、俳句の披露もあつたりで、結構楽しく読ませてもらえます。

ただ、体調がすぐれず入院とか、自宅療養だとかの記述もあり、心が痛みます。それで、これに対する見舞いとか、激励文もあるわけです。

六〇余名の家を回る「ノート」ですから、一巡するのに半年近くを要するのは、やむを得ないところでしょう。しかし、結構、相互の生活の一端が伺えて、学ぶ



文化財巡り（H. 7. 11. 21）

べきことが多々あります。二〇年間、その役割を十分に果たしながら回り続けている「回覧ノート」、今後もなお止むことなく回り続けていくでしょう。

## ふるさとを歩く会

榎本 幸男（高松市）

暑い日差しが照りつけるなか、玉のよ  
うな汗を流しながら登ったあの山、また  
寒い冬の日、木枯らしに吹かれながら史  
跡巡りをした古いお寺、いろいろな事  
思い出されます。

しかしなんといっても楽しかったのは、  
秋晴れの田舎道を、さわやかな風を受け  
ながら歩いたあと、うち解け談笑しなが  
ら食べたお弁当の格別に美味しかったこ  
とです。

四季折々の風情を膚に感じながら、グ  
ループのみんなと楽しい一日を過ごした  
ことの喜びは、例えようがありません。

会が発足して五年が経ちました。

当初は、何処へどのようにして行っ  
たらいものやら五里霧中でしたが、二年  
経ち、三年経つとようやく計画も軌道に  
のってきました。歩くコースの選定にあ  
たっては、先ず会員から希望を募ること  
にしました。

県内外いろいろな所が候補地としてあ  
がってきますが、交通手段等の問題でど  
うしても行けない所は除いて、希望に副  
うような形で実現してきました。

また香川県が整備している「四国のみ  
ち」があります。このなかには四国八十  
八カ所の札所や史跡も入っているの  
で、出来るだけ利用しています。

最近では県外へも足を延ばして、岡山  
の備中国分寺、和気地方、さらに愛媛の  
面河地方へも行きました。

写真は今年七月、蒜山高原から大山、  
さらにNHKテレビで今話題の「月山富



月山富田城跡にて（H. 9. 7）

田城跡」へ行ったときのものです。  
参加される会員も段々と自信を持つて  
きて、毎回元気に参加されるようになり  
ました。  
日頃は一日一万歩を目安として、自分  
の体調に合った量を歩いたらよいでし  
ょう。これからもグループみんなが、健康で  
楽しく、無事故で参加されることを期待  
しています。

## 80会（ゴルフサークル）

正木 康晴（徳島市）

紺碧の抜けるような青空の下、眼前に  
広がる緑のフェアウェイにティショット  
の白球が一直線に伸びて行く。第二打の  
アイアンショットがピンに絡む。グリ  
ンで距離のあるファーストパットが、読  
み通りに弧を描きながらカップに吸い込  
まれる。

適度な緊張の中でのこの一瞬の爽快感  
充実感、正にゴルフの醍醐味で、この  
感動こそが、人々をゴルフにのめり込  
ませる最大の要因となるはずだ。

私達のサークルも、この様な経験をも  
ち、ゴルフに魅せられた先輩OB諸氏に  
よって、昭和五五年（一九八〇年）六月  
に結成され、第一回例会を徳島眉山CC  
で行っております。

サークルの名称は80（はちまる）会。  
少し変わった名前ですが、一九八〇年に  
結成されたことと、お互いに八〇才を過  
ぎても一段と健康を保ち、八〇台のスコ  
アでプレーをしようという強い決意が込  
められたものです。

結成時の会員は一六名と少なく、コン  
ペには、現職愛好家の方々にも参加を求  
めるといふ寂しい時代もありましたが、  
一七年を経た現在では、女性会員二名を  
含め四三名を擁する大家族に成長しまし  
た。この間、毎月の例会を一回たりとも  
欠かすことなく、優勝者とブービー者が  
次回の正副幹事を務めることとして運営  
を続け、今年の一二月例会でもって二一  
〇回を数えるに至りました。

また、毎年一回、特別行事として、近



阿南CCにて (H. 9. 8. 5)

隣県への遠征コンペを一泊二日で実施するほか、テルウェルとの共催コンペも行うなど、広範な活動を続けております。昨年の遠征は、愛媛県の今治に出向き、東予国民休暇村で宿泊、今治CCでプレーをしました。今年も、二一〇回記念となる一月に、西讃の瀬戸タックGCに遠征し、温泉リゾートホテル「ビレッジ美合」に宿泊する予定です。遠征先の宿で風呂に浸かり、土地の名物料理に舌づつみを打ちながら、ゴルフ

談義に花を咲かせ、和気あいあいのひとときを過ごすことも、互いの親睦を深め、人生を謳歌する上で意義深いことです。結成以来一七年。一時は会員不足等に悩みながらも苦境を乗り越え、現在の80会に育て上げることが出来たのは、歴代会長の誠実な人柄と、会員各自の旺盛な協調精神に負う部分が大きいのです。会員には、ゴルフが飛び抜けて上手な者はおられません。皆どんぐりの背比べです。しかし、私達は、スコア云々以前に、ゴルフを通じて人と人の触れ合いによる幅広い人生観を醸成し、生き甲斐を求めていこうとしております。そのためにも、80会が今後益々発展の道を歩むよう全員で頑張っております。

彭 謠 会

窪田 剛介 (高知市)  
初代会長 越久田保之  
現会長 賀川 明孝

当サークルは、謡曲愛好者の集まりです。第九四号の会報で紹介して頂きましたが、その後、日頃の精進の成果を発表する機会を得ましたので、再び、レポートさせて貰います。先ず、昨年暮れ、高知電友会主催の忘年会で、余興としてやってみたら、という提案があり、メンバー一同で「高砂」を披露し、好評を博しました。そこで味をしめ、今年五月、総会後の懇親会で、今度は「式三番」を堂々(?)と演じました。そして、更にあることか、当サークルの会員である楠瀬会長が、当会某幹事



総会の懇親会で (H. 9. 5. 17)

の娘さんの結婚式場で、その妙技(?)を披露する羽目に陥りました。しかも、新郎新婦の入場の際、ウエディングマーチの代わりに謡曲を演じるという非常に重い役割です。嫌がる彼に、無理矢理引き寄せさせた我々も、非常に心配してその場に望みましたが、立派にその役目を果たしました。そして時間もピッタリで、上等の出来であったと賛辞を贈ったものでした。但し、謡曲はズブの素人の我々には、上手、下手の判断は出来かねますので、その点を付け加えてレポートとします。

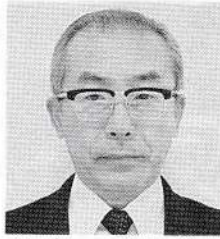
健康のページ

血管の話

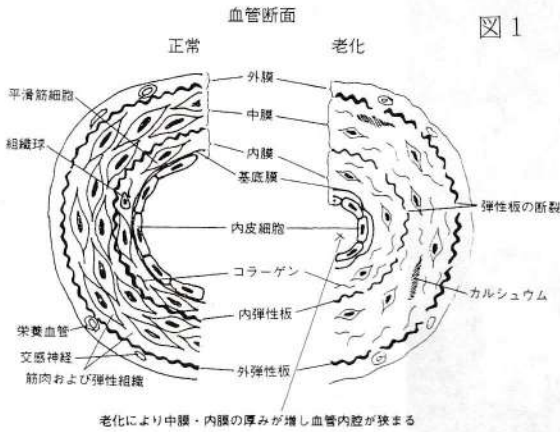
N T T 松山病院院長

石戸谷 武

○老化は血管から（生理的な動脈硬化）  
今回は、身体中のいたるところに、神経と同じように張りめぐらされている血管について述べて見ましょう。



先ず年をとると血管（動脈）にはどのような事が起こるのでしょうか？（図1）血管は三層から出来ております。即ち外膜、中膜、内幕で



老化により中膜・内膜の厚みが増し血管内腔が狭まる

あります。このうち中膜と内膜について見てみます。  
一般的に年をとると体のどの臓器も容積や細胞数が減ってきますし、コラーゲン（膠原繊維・硬タンパク質の一つ）が増加してきます。血管もその例外ではありません。  
一 内膜を見ますと、心臓に近いところの血管よりも遠く離れた所の血管の内膜の方が厚くなっております。四〇歳以降になりますと、この内膜の結合織層の増加が著しくなります（この増加の傾向は、一〇代後半からすでに始まっており、即ち老化は、既にこの頃から始まるわけです）。  
細胞は萎縮して細くなり、基底膜と細胞の間に隙間が出来てきます。五〇〜六〇歳では結合織の厚さが更に増し、繊維は緻密になり硝子様になります。  
二 中膜では加齢現象が忠実に出てきます。年をとると共に厚さが増し、弾性板層の数は減り、層のすき間は広がります。弾性板の断裂や走行の乱れがひどくなります。中膜筋細胞は数が減り、萎縮し、変性してきます。間質成分（コラーゲンと酸性ムコ多糖）は増加します。更に細胞崩壊物質が増加し、カルシウムが増加します（石灰化）。  
○成人病（生活習慣病）も血管から（病的な動脈硬化）  
この病的な動脈硬化は、色々な危険因子が関与して起こってくるものであります。この危険因子には、列挙すると次の様なものがあります。  
即ち①性、②年齢、③高血圧、④高脂

血症、⑤喫煙、⑥肥満、⑦糖尿病、⑧通風（高尿酸血症）、⑨ストレス、⑩遺伝、⑪運動不足、⑫低HDL血症、⑬A型性格行動パターン等が挙げられます。  
生理的な動脈硬化は、これを治療することは難しいですが、危険因子が積み重なって起きる病的な動脈硬化は、この危険因子を積極的に取り除く様に努めることで、予防及び治療できます。  
この病的な動脈硬化の原因となる危険因子の多くは、日常生活の様態が不適当であるために起こってくるものでありまして、食品の偏り（カロリー、脂肪、糖質、塩分、アルコール等の摂取過剰）、運動不足、ストレス過剰の生活様式が、色々な危険因子を生み出してきます。  
よく耳にする高血圧、高脂血症、喫煙、糖尿病、肥満、通風等の危険因子は、いずれも食生活に密接に関係しており、互いに関連し合っていることが多く、二つ、三つと危険因子が重積している症例は、全て食生活に起因しているといっても過言ではありません。  
この病的な動脈硬化が体の主要な臓器に起こってきたのが、代表例として挙げますと、心臓では冠動脈硬化であり、脳では脳動脈硬化、腎臓では腎動脈硬化、足などでは末梢動脈硬化でありまして、その結果として起こってくるのが、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞、腎不全、四肢閉塞性動脈硬化症であります。そして色々な障害を示し、強ければ死亡することになります。  
それでは次に、危険因子が動脈硬化にどの様に関与しているのか、個々の因子

について見てみましょう。(図2)

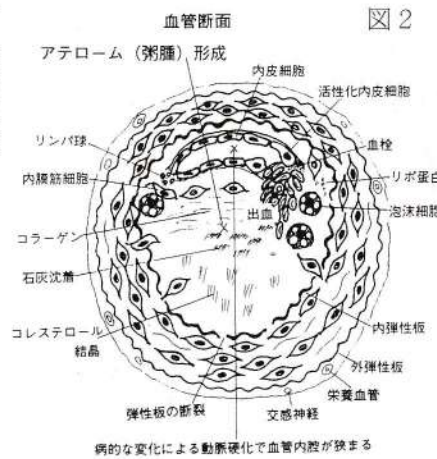


図2

一 高脂血症  
動脈硬化の始まりは、内皮細胞の障害からであります。内皮細胞の傷害された所に血小板が集まったり、ある種の細胞を内皮下に侵入させたり、更に中膜層からは平滑筋細胞が入り込んできて、内皮下に変化を起こさせます。多くの危険因子のうち高脂血症の役割は重要です。  
高脂血症は総コレステロール値二二〇mg/dl以上、トリグリセライド(中性脂肪)一五〇mg/dl以上のいずれか、または、双方を超えるものと定義されており、ご自分の検査結果と比べて下さい。

二 高血圧  
血圧が高いときには、動脈壁の内膜の内皮細胞にかかる圧力が内皮傷害因子となります。また、高い血圧が長い間続くと、血行力学的にも内皮傷害を起こしてきます。血管内皮の透過性が高まり、同じように内皮下に血液内の細胞や、中膜

層からの平滑筋細胞の入り込みによって、内膜の異常な組織が増生してきます。また、高血圧自体によって起こる内分分泌物によっても、中膜平滑筋細胞の増生・肥大により、全体として中膜の肥厚も起こってくる。  
脳や腎臓の細動脈の中膜は平滑筋細胞に富み、高血圧が続けば血管壁は厚くなり、内腔が狭くなり、抵抗も高くなり、血流傷害のためと血管壁が弱くなり、小動脈瘤が出来たりして脳出血を起こしたり、血流停滞で脳梗塞を起こしたりします。

三 喫煙  
喫煙は粥状動脈硬化を発症させ、進展させる最大の危険因子の一つであります。タバコには多くの物質が含まれていますが、動脈硬化に影響を与えるものは、ニコチンと一酸化炭素(CO)であります。ニコチンは交感神経を刺激して血圧が上がります。血流が増し、局所的に低酸素血症は内皮の透過性を高めます。  
つまり、習慣喫煙者では、粥状動脈硬化の発生が、内皮の傷害や欠損のために起きてきます。特に、高コレステロール血症がある場合に、喫煙は動脈硬化を特に顕著に進展させ、心血管病の発症につながります。

四 糖尿病  
糖尿病患者は、全身の大きな血管の動脈硬化を起こしやすく、冠動脈硬化ではしばしば心筋梗塞を起こして生命予後を決定し、脳動脈硬化では脳梗塞につながり、下肢動脈の閉塞性硬化では痛みのために長く歩けず、苦痛がひどいです。

糖尿病における動脈硬化の特徴は、一つは比較的若いときから始まることです。また、糖尿病では痛みのない心筋梗塞が多いということもあります。その組織像は粥状硬化で、糖尿病の硬化は頻度が高く、程度がより重症であることでもあります。

五 肥満  
肥満の人には、動脈硬化の原因となる危険因子が多く合併します。その危険因子として、高脂血症、高血圧、糖尿病、高尿酸血症等が挙げられます。  
また、肥満そのものにも動脈硬化惹起作用があり、その因子としては肥満に伴う高インシュリン血症が考えられております。インシュリンには平滑筋細胞を増殖させる作用と、コレステロールを血管に沈着させる作用があるからです。

六 ストレス  
ストレスというのは、われわれの体が曝される身体的、精神的、社会的な刺激に対して、体の中で生じる反応のことです。  
われわれがストレスを受けると、自律神経の中の交感神経の興奮によって循環系では血圧が上がります(高血圧)が、血液の中に脂肪酸やグルコースの放出から(高脂血症)が、血流の変化から(血管内皮障害)、といったように危険因子の出現で動脈硬化病巣が形成されます。

七 A型性格  
A型とは、血液型のAではありません。A型性格とは、目的に向かって自己中心的に周りの迷惑も考えず、ただひたすらに自己を駆り立てる性格をさし、責任へ

の挑戦願望、過大な競争心、攻撃性、無  
休息、爆発的なスピーチ等が挙げられま  
す。  
この場合、コレステロール・中性脂肪  
値が高く、インシュリン分泌の亢進、血  
管の攣縮、血管内皮の障害が起こり、こ  
れらが動脈硬化巣を形成します。  
この他にも病的な動脈硬化を引き起こ  
す危険因子がありますが、いずれも日常  
生活に注意を払い、積極的に取り除くよ  
うに努める必要があります。

ひび

OB硬式テニスクラブ

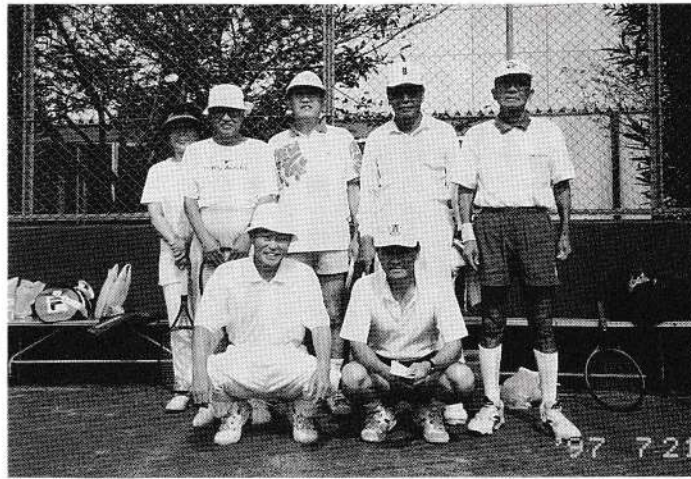
篠浦英太郎（松山市）

今春、〃OB硬式テニスクラブ〃が発  
足致しました。  
テニスブームにあやかって、また、T  
Vで見るヒンギス選手やグラフ選手の華  
麗なストロークやボレーを見て、六〇才  
の手習いを始めた数人が、〃親睦クラブ  
を〃ということ話がまとまりました。  
現在、会員は一名。事務局長は私、  
篠浦が担当しております。新入会員をお  
待ちしております。

女性も一名入会しており、ゴルフに比  
べてはるかに安く、短時間で汗をかき、  
適度な運動です。  
軟式テニスに比べると、力がいらな  
いのんびりとゲームを楽しめる等、良いと  
ころばかりです。

月に一回、学園で練習テニス大会をや  
っております。左記電話への連絡を宜し

くお願い致します。  
写真は、夏の大会に集まったメンバ  
ーです。愉快的な半日を過ごしました。  
電話 九三三―四七八七



物故者叙位叙勲  
正七位勲六等瑞宝章  
正七位勲六等瑞宝章  
正七位

宮川 栄様  
西田 忠雄様  
森 登士夫様



敬弔

次の方々が逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福  
をお祈り致します。

氏名	死亡年月日	享年	地区
佐伯 孝明様	9・6・16	65	松山
宮北 繁様	9・6・21	76	高松
野田 理様	9・6・30	67	日和佐
森 登士夫様	9・7・1	83	高松
丸野 善弘様	9・7・2	62	高松
堺 房壽様	9・7・9	86	室戸
兵頭 英樹様	9・7・23	57	松山
松本 久雄様	9・8・1	71	宇和島
山田 富子様	9・8・3	88	徳島
高橋 圭作様	9・8・11	71	松山
佐原 正清様	9・8・11	67	徳島
西沢 立至様	9・8・16	77	松山
脇水 満様	9・8・20	74	松山
坂東 濟子様	9・8・22	76	石井
玉井 一正様	9・8・24	72	松山
西村 正様	9・9・8	67	高知
玉川 邁様	9・9・17	88	松山
渡辺キヨ子様	9・9・18	84	高松
岡田 安隆様	9・9・19	70	松山
吉岡 正様	9・10・4	74	松山

▼テルウエル四国支部では、次の番号に  
より、訃報等をお知らせしております。  
〇二二〇―四七―二九四一（無料）

NTTの動き

特別寄稿

マルチメディア時代に向けて

四国法人営業本部  
マルチメディア推進室

○はじめに

情報通信分野においては、ディジタル技術・光ファイバ・コンピュータ等の技術革新の進展、企業や個人のお客様ニーズの高度化・多様化に伴って、コンピュータと通信の融合に代表されるマルチメディア市場といわれる新事業分野が出現しており、この情報通信の革新に対応するため、世界各地において活発な動きが見られ、情報通信産業は、二一世紀に向けての中核的産業であるとの期待が高まっています。

このような中で、NTTは情報通信のマルチメディア化に対応するため、マルチメディア共同利用実験、海外企業との提携による新サービスの開発、通信網の光化に積極的に取り組んできましたが、今後、更に具体的な取り組みを推進し、マルチメディアの実現に寄与する考えです。

○マルチメディアとは

一口にマルチメディアといっても、色々な見方があります。マルチメディアはイメージが先行し、色々な商品にマルチメディア□□□□という表現が使われています。では、マルチメディアの定義としては、

▽通産省関係の定義

文字、図形、音声、映像など複数の表現手段を統一的に取扱い、情報を効果的に表現する手段。または、無線、有線、パッケージ系などの情報に最も適した伝達手段。

▽コンピュータ業界の定義

グラフィック、テキスト、サウンド、コンピュータデータなど異なる情報を組み合わせて、同時に表示・再生すること。▽広辞苑

情報を伝達するメディアが多様になる状態。また、コンピュータで映像、音声、文字などのメディアを複合し、一元的に扱うこと。

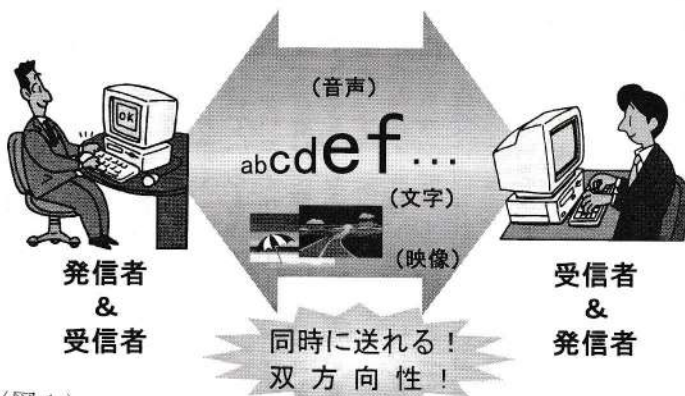
それぞれの立場によって、定義のニュアンスやポイントは異なっていますが、NTTとしては、音声、文字、映像などの情報が同時に扱える、同時に伝達できることをマルチメディアと考えています。

今から約一〇年前に、ニューメディアというものがありました。このときは、色々な情報を伝達する手段（通信技術）のことをいっていました。

今、マルチメディアといわれているメディアという言葉の意味するものは、伝達する手段のことはなく、情報の中身そのものを示しています。

例を取り上げてみると、最近、パソコンによく使用されているものに、CD-ROM（コンパクトディスク・リードオンリーメモリー）という一種の記憶媒体があります。CD-ROMは、それ自体、音声、文字、映像を同時に扱えますので、マルチメディアの一つのツールといえます。

マルチメディアとは



(図1)

す。しかし、NTT側から考えてみると、CD-ROM自体がいくら増えても、それだけではビジネスにはなりません。CD-ROMは一例ですが、このような情報を伝達する手段として通信網が不可欠であり、また、その通信網を使って頂くという世界を展開することが大切だと考えています。これらを絵に表現すると、図1のようになります。

ここでは、情報の発信者と受信者がパソコンを使って音声、文字、映像を送受信しているところをイメージしています。決して発信者と受信者が一方通行ではなく、発信者が受信者となり、受信者が発信者となるという双方向性があると同時に、大切なことは、そのような情報の伝達手段としてネットワーク（通信網）が介在しているということです。

○マルチメディアへのアプローチ

これまで、通信、コンピュータ、放送は、それぞれが個別に進展を遂げておりましたが、デジタル技術の飛躍的進歩により融合が進みつつあり、とりわけ通信とコンピュータの融合が急速に進展しています。

この通信とコンピュータの融合の代表的なものとして、インターネットが挙げられます。本来は学術用としてスタートしたインターネットは、爆発的な伸びを示し、その商用化がハイペースで進められています。

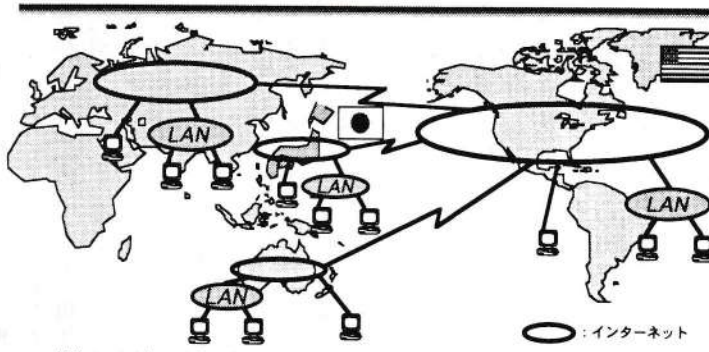
本格的なマルチメディア時代へのアプローチは、このインターネットに代表されるコンピュータ通信から進展しています。

○インターネット

インターネットとは、「世界中のコンピュータが結ばれた網の目のようなネットワーク」です。特にインターネットという名称のネットワークがあるわけではなく、様々なネットワークが更に様々なネットワークにつながったもので、広域で世界規模になったものです。そして、そこにおいて世界中の不特定

多数の人々とコミュニケーションが可能になった「状態」のことを総称して「インターネット」と呼んでいます。（図2参照）

インターネットとは



複数のコンピュータネットワークが相互に接続された世界規模の通信ネットワーク  
 ●世界中の人にメールが送れる（電子メール）  
 ●世界中の人と共通の話題で意見交換できる（ネットニュース）  
 ●世界中の様々な公開情報を閲覧できる（WWW）  
 ●オンラインショッピングで世界中で買い物ができる（電子モール） など

(図2)

代表的なものをいくつか紹介します。  
 ▽情報検索・WWW  
 インターネットで、最も注目を集めているのがWWW（ワールド・ワイド・ウェブ）です。  
 これは、「世界中に張りめぐらされた

クモの巣」という意味ですが、世界中の情報発信を行うコンピュータに接続し、カラーグラフィック画面によって情報を閲覧できる仕組みを指します。

インターネットには、企業や学校、そして個人が運営する無数の情報発信コンピュータが存在しており、WWWを使って最初にたどり着く「画面」がホームページといわれているものです。

▽電子メール・E-mail

電子メールとは、簡単にいえばコンピュータで手紙をやりとりする郵便のようなシステムです。

送信されたメールは、途中経路にある様々なホストコンピュータ間をパケットリレーのように受け渡され、相手のコンピュータに届けられます。

▽ファイル転送・FTP

遠隔地のコンピュータ間で、データやプログラムの転送をさせる機能です。

インターネット上には、一般に公開されているソフトウェアが多くあり、この機能を使うと、これらのファイルを自由に入手することができます。

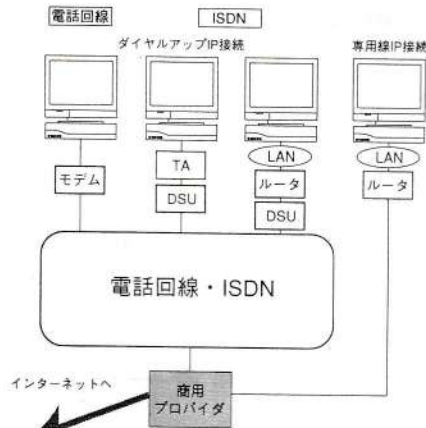
○インターネットに接続するには

インターネットを利用するには、インターネットとの接続サービスを提供する商用プロバイダと、自分のパソコンを通信回線で接続する必要があります。

接続方法は、専用線による方法、電話回線等の公衆網による方法等があります。が、家庭のパソコンから接続する場合は、電話回線またはISDN回線を使用し、接続する、ダイヤルアップIP接続という形態が一般的となっています。（図3）



▽ダイヤルアップIP接続  
 インターネットをできるだけ低料金で利用したい場合、利用者は「ダイヤルアップIP接続」という形態の接続をプロバイダと行うこととなります。  
 これは、専用線による常時接続の形態とは対照的に、インターネットを利用するときにだけISDN・電話回線を利用して、プロバイダのアクセスポイントへ接続する形態です。  
 利用料金は、プロバイダへの接続料金と、利用時間に応じてNTTに支払う通信料の合計額となります。  
 この方式は料金が低価格ですみ、インターネットを始めたい利用者の方に勧めの接続形態ですが、その中でも家庭での利用者が増えているのが端末型ダイヤルアップIP接続です。  
 ▽商用インターネットプロバイダ

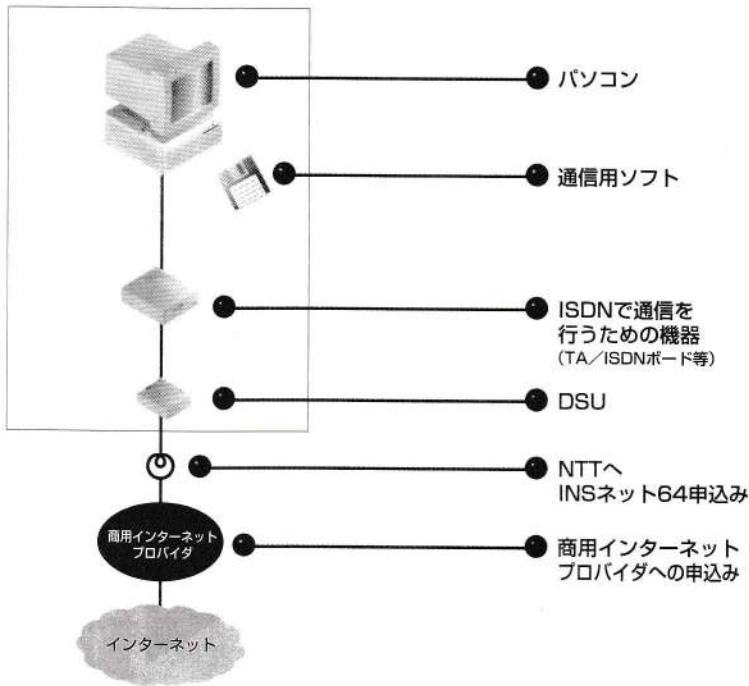


(図3)

インターネットへの接続を有償で提供する接続サービス事業者です。料金設定は各業者ごとに差があります。  
 インターネットを利用するためには、プロバイダと接続契約を結ぶ必要があります。  
 また、プロバイダではありませんが、NTTにおいても、現在、コンピュータ通信サービスとしてOCN（オープン・コンピュータネットワーク）サービスを提供しており、本サービスに申し込まれると、家庭でもインターネットを利用することが出来ます。  
 ○インターネット接続に最適なISDN  
 ▽ISDNとは  
 プロバイダまたはNTTのOCNに加入して、それぞれのアクセスポイントにダイヤルアップIP接続を行うには、ISDNまたは一般の電話回線を利用することになります。  
 ISDNは、音声・画像を含めて全ての情報をディジタル信号で送受信するネットワークです。日本では、NTTが「ISNネットワーク」の名称でサービスを提供しています。  
 この「ISNネットワーク64」には、一般の電話回線と比較して次のような特徴があります。  
 ・ディジタルネットワークなので、高速性、安定性に優れています。  
 ・現在のところ電話回線では、通信速度が最高二八・八キロビット/秒ですが、ISNネットワーク64では、最高六四キロビット/秒の高速通信が可能です。  
 ・機能上、「ISNネットワーク64」一回線が

電話回線二回線分に相当するので、二カ所同時（インターネットを利用しながら電話を掛けるといった具合）に通信を行うことが可能です。  
 このように「ISNネットワーク64」は、大量の情報をやり取りするインターネット利用に最適といえます。  
 また、電話回線から「ISNネットワーク64」への変更は簡単で、今まで使っていた電話番号もそのまま使用できます。  
 (図4には、「ISNネットワーク64」を利用してインターネット接続を楽しむ場合に必要なものを、図5には、「ISNネットワーク64」に変更した際の費用等を示しています)  
 ○OCNサービス  
 世界的規模でのインターネット利用人口の爆発的な増加、パソコン通信やLAN間通信の急成長など、コンピュータと通信の融合によるコンピュータ通信の需要は近年急激に拡大しています。  
 NTTでは、このようなニーズに応える新しいコンピュータ通信のインフラとして、一九九六年一二月から、OCNサービスの提供を開始しました。  
 OCNは、従来の電話型ネットワークと根本的に異なり、インターネットなどのコンピュータ通信に適合したリアルタイム性を問わない、また、料金的には定額性を基本とする廉価なネットワークです。  
 OCNサービスには、大別して常時接続型サービス（OCNエコノミー、スタンダード、エンタープライズ）と、ダイヤルアップ型サービス（OCNダイヤル

インターネット接続に必要なものは次のとおりです。



【導入費用】

既設電話回線から変更の場合

契約料	800円
交換機等工事費	1,000円
工事基本費用	1,000円
合計	2,800円～

※お客様宅内での工事が発生すれば、上記の料金は異なることがあります。

INSネット新設の場合

契約料	800円
施設設置負担金	72,000円
屋内配線工事費	3,800円
工事基本費用	4,500円
合計	81,100円～

※屋内配線工事までをNTTが実施した場合の料金。

【毎月の使用料】

回線使用料	INSネット64に変更した場合		加入電話を1回線増設した場合	
	住宅用	2,830円	住宅用	3,980円 (1,600円×2+390円×2)
	事務用	3,630円	事務用	5,680円 (2,450円×2+390円×2)

※( )内の金額は、プッシュ回線利用の場合です。

※屋内配線買い取りの場合の金額です。レンタルの場合は60円が加算されます。

【通信料】

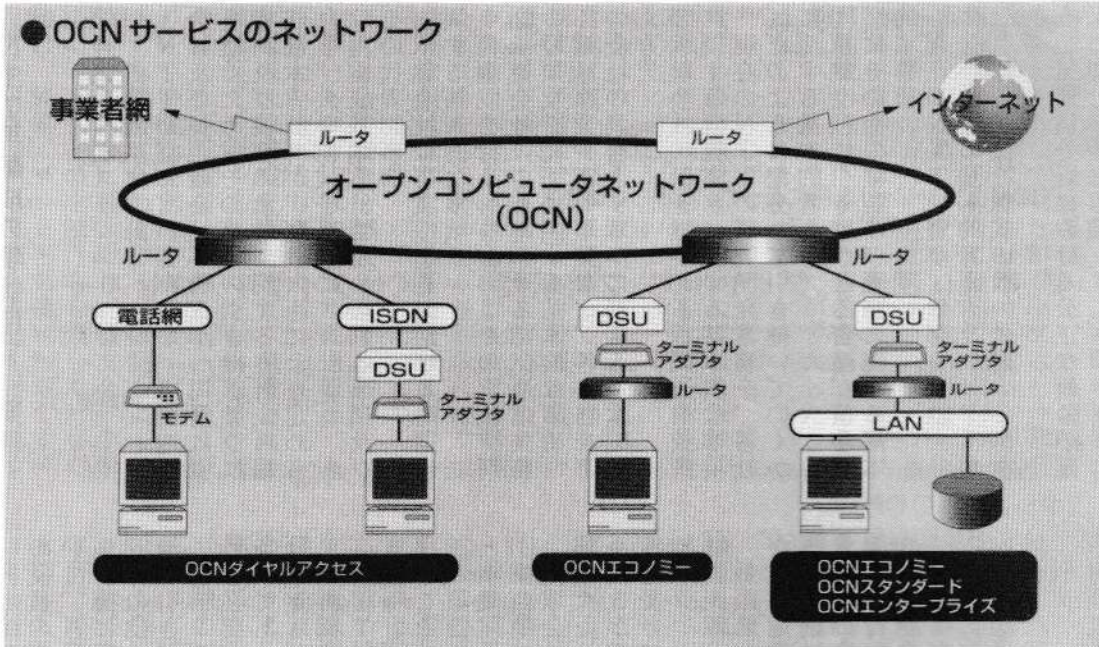
加入電話のダイヤル通話料と同額です。

(図5)

アクセス)があります。(図6、7)家庭でインターネットを利用する場合は、OCNダイヤルアクセスが一般的です。OCNダイヤルアクセスサービスは、

一般の加入電話やISDN回線を利用し、アクセスポイントへ電話をかけ、つながった時点からインターネットに接続できる仕組みになっています。コストの安さや使いたいときにダイヤルして使うという手軽さ、また、アクセ

スポイントの多さから、インターネット利用者の多くが利用している接続方法です。OBの皆様にも、インターネットへの接続に便利な、OCNダイヤルアクセスのご利用をご案内致します。



(図 6)

● OCNサービスの料金体系 (消費税別)

サービス名	料金体系	料金額 (月額)	
		基本時間	2,300円 (15時間まで)
OCNダイヤルアクセス	定額制 (15時間まで) 従量制 (超過分) ※別途ダイヤル通話料が必要	基本時間を 超える部分	9円/分
OCNエコノミー (128 kb/s)	定額制 ※別途ダイヤル通話料は不要		38,000円
OCNスタンダード (1.5 Mb/s)			350,000円
OCNエンタープライズ (6 Mb/s)			985,000円

● OCNサービスの工事料金 (消費税別)

(1) OCNダイヤルアクセス 工事費等算出例

【単位：円】

	新規	電子メールの変更	認証IDに対応するパスワードの変更
契約料	800	—	—
基本工事費	1,000	1,000	—
認証ID登録 (認証サーバ工事)	1,000	—	—
電子メールアドレス登録 (メールサーバ工事)	1,000	1,000	—
合計	3,800	2,000	無料

(2) OCNエコノミー 工事費等算出例(略)

(図 7)

## NTT再編成の現状について

## ○今後の再編スケジュール

一 再編成基本方針  
NTTが営んでいる事業を、東西地域会社及び長距離会社へ適正かつ円滑に引き継ぐため、その事業の引き継ぎ並びに権利及び義務の承継に関する方針（再編成基本方針）が、郵政大臣により定められる。（今年秋を目途に）

▽再編成基本方針で定められる事項及びその代表的事例

(1) 承継会社に事業を引き継がせる時期に関する基本的な事項

再編成を行うべきおおよその実施時期。  
(2) 承継会社に引き継がせる電気通信業務の種類及び範囲に関する基本的な事項

電話事業や電報事業など、各業務をどの会社の業務とするかに関する基本的な考え方。

(3) 承継会社に引き継がせる電気通信技術に関する研究業務に関する基本的な事項  
現在のNTTの研究開発業務を、各社でどのように配分して引き継いでいくかに関する基本的な考え方。

(4) 承継会社に引き継がせる資産、債務並びにその他の権利及び義務に関する基本的な事項

現在のNTTの資産・債務を承継会社に分ける際の基本的な考え方及びNTTが保有する子会社株式の扱いに関する基本的な考え方。

(5) 電気通信分野における公正な競争の確保に関する必要な事項

例えば、長距離会社と地域会社との間の役員の兼任や、営業の独立性などについて、NTTとしての具体的な方策を実施計画に盛り込むよう求める旨の規定。  
(6) その他承継会社への事業の適正かつ円滑な引き継ぎに関する事項

前(1)～(5)以外の事項を基本方針に盛り込む必要が生じたときに規定するための条項であり、現在のところ、特段のものは予定されていない。

## 二 再編成実施計画の策定

NTTは再編成基本方針に従い、再編成実施計画を策定し、郵政大臣の認可を得ることが必要。

三 東西地域会社及び長距離会社の設立と事業開始（参考1）

## (1) 東西地域会社

地域会社は特殊会社であることから、郵政大臣の任命する設立委員により設立手続きが進められ、NTTからの営業譲渡を受けて会社を設立し、同時に営業開始。

## (2) 長距離会社

長距離会社は純粋民間会社であることから、通常の商法の設立手続きにそって再編成前にかつじめ会社を設立しておく、この会社に対してNTTからの営業譲渡を行い、同時に営業開始。

## (3) 株主総会の決議

NTTからの営業譲渡は、NTTの株主総会における特別決議が必要であり、この決議による承認後に地域会社・長距離会社は同時に営業開始。

平成一年の定時株主総会に付議。  
○再編成後のNTT事業運営等

一 持株会社を中心にした同列の複合企業体へ移行し、徹底したグループ経営を実施

今回の再編成は、世界にも類例を見ない研究開発部門を擁した持株会社制度によるものであり、再編各社のみならず、既存のグループ会社も含め、NTTグループトータルとして、総力を結集してグローバル競争に勝ち残っていく必要がある。

## (1) 持株会社

少数精鋭で、グループ全体の経営目標・理念達成のためのグループマネジメントを実施すること。

## (2) 東西地域会社

既存資源の積極活用、徹底したコスト改善、新サービス開発によるNTTグループトータルの財務基盤を確保すること。

## (3) 長距離会社

営業技術力の向上、新サービス開発による新たな事業領域の拡大を図り、NTTグループトータルの財務基盤確保に貢献すること。

## 二 現行サービスの帰属

再編成時における現行サービスの帰属については、現時点、参考2の方向で検討中。最終的には再編成実施計画策定時までには確定。

## 三 既存グループ会社の帰属

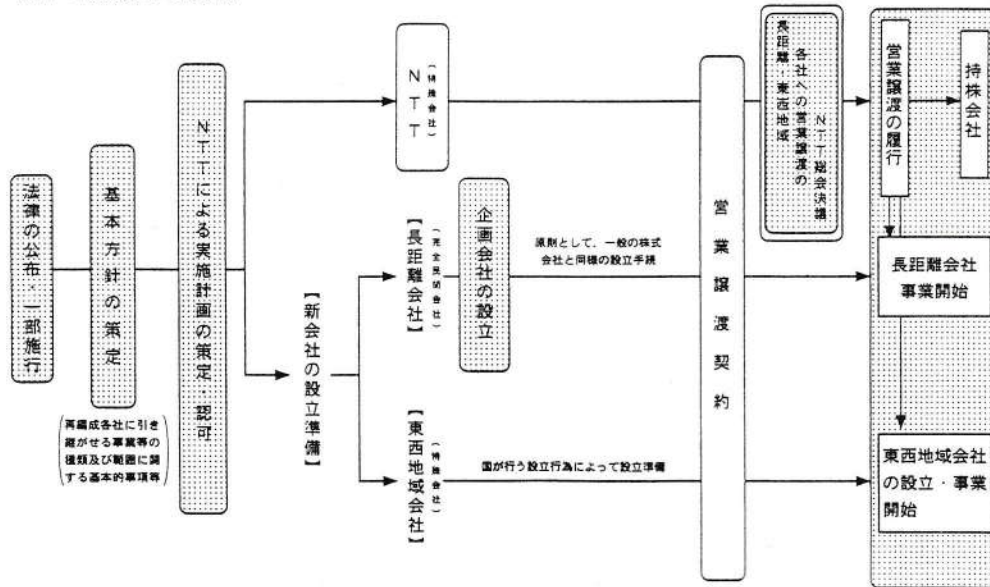
再編成後も、NTTグループ全体として発展していくために、再編成各社の事業内容、特性等を勘案しつつ、検討中。  
(1) 現時点における基本的な考え方は以下の通り。

① 全国的展開を行っている会社等（デ

再編会社の設立手続について

(参考1)

【NTT再編に伴う諸手続】



現行サービスの帰属

(参考2)

	東 西 地 域 会 社	長 距 離 会 社
基本サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内通話サービス</li> <li>県内専用サービス</li> <li>県内アクセス等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県間通話サービス</li> <li>県間専用サービス</li> </ul>
基本サービス以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>電報サービス</li> <li>番号案内、電話帳</li> <li>電話付加サービス</li> <li>県内アクセス等</li> <li>マルチメディア情報流通プラットフォーム(地域型)</li> <li>マルチメディアユーザアプリケーション(自エリアのユーザ対応)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度電話サービス(県内・県間一体)</li> <li>料金割引サービス(県内・県間一体)</li> <li>OCN</li> <li>パケット交換、フレームリレー、セルリレー</li> <li>ファクシミリ通信網、ビデオテックス通信</li> <li>マルチメディア情報流通プラットフォーム(全国型)</li> <li>マルチメディアユーザアプリケーション(グローバルユーザ対応)</li> </ul>

ータ、ドコモ等)、現在、NTT本社が管理している会社については、原則として持株会社がその株式を所有。

② 国際通信の拠点となる海外現地法人及びグローバルネットワーク構築業務を行っている会社等(NTTアメリカ、NTT-I、NTTPCコミュニケーションズ等)については、長距離会社とその株式を所有。

③ 事業活動が地域会社の業務と密接な関係のある会社及びNTT支社が管理している会社等(テレカ、TE等)については、地域会社がその株式を所有。

四 今後の経営の主要課題

- (1) 研究戦略とサービス戦略(競争戦略)
- (2) グループ戦略
- (3) 国際事業化
- (4) 営業体制の見直し
- (5) 新しい設備のあり方……等々

去る七月七日、電友会第一七回理事會及び第八回評議員會が開催されましたが、この記事は、會議終了後、井上秀一氏(NTT代表取締役社長)により、「NTT再編成の現状について」と題して講演會が行われ、その際に使われた資料から抜粋したものです。

#### ナンバー・ディスプレイと

#### ナンバー・アナウンスサービス

NTTでは平成一〇年二月から、ナンバー・ディスプレイ(発信電話番号表示

サービス)とナンバー・アナウンス(発信電話番号アナウンス・サービス)を、全国的に提供する準備を進めています。

○ナンバー・ディスプレイは、電話に出る前に、かけてきた相手の電話番号を電話機などのディスプレイに表示するサービスです。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機又はアダプターが、別途必要になります。

○ナンバー・アナウンスは、「136」をダイヤルすると、最後にかかってくる相手の電話番号を、音声で知らせるサービスで、ガイダンスに従って、更に「3」をダイヤルすることにより、その電話番号へ自動的に呼び返し発信することも可能です。

このサービスでは、現在の電話機がそのまま利用できます。  
▽電話番号の非通知方法  
今まで通りの電話のかけ方ですと、発信者の電話番号を相手に通知することになります。

そこで、発信者の電話番号を相手に通知したくないときは、「回線ごと非通知」の連絡を、NTTナンバー・ディスプレイ・カスタマーセンターへ送っておく必要があります。(既に皆様のお手元には、「電話番号の非通知方法のご希望承り書」が届いていると思います)

なお、「回線ごと非通知」の連絡をした場合であっても、相手の電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすれば、その通話に限って、発信者の電話番号を相手に通知することができます。  
また、特定の通話に限って、非通知と

する方法もあり、この場合には、「通話ごと非通知」として連絡することになりますが、連絡をしなかった場合もこの扱いになります。

「通話ごと非通知」では、発信者の電話番号を相手に通知したくない場合、相手の電話番号の前に「184」をつけてダイヤルしなければなりません。  
▽ナンバー・ディスプレイ等の予約  
ナンバー・ディスプレイやナンバー・アナウンスサービスの利用を希望される方は、NTTナンバー・ディスプレイ・カスタマーセンターへ申込書を送ることになります。(既に皆様のお手元には、「ナンバー・ディスプレイ」等の予約お申込書が届いていると思います)

なお、月額利用料金は、加入電話(住宅用)の場合、ナンバー・ディスプレイ四〇〇円、ナンバー・アナウンス三〇〇円で、工事費は二千円と、お安くなっております。  
▽詳細は、ナンバー・ディスプレイ・カスタマーセンター(〇一〇一八四八五二一)へ、お問い合わせ下さい。

#### 高松地区の市内局番が3桁に

市外局番「0878」地域は、一〇月一〇日午前〇時から、市内局番が「8」から始まる3桁に変わります。

変更地区は、高松市、国分寺町、綾南町、綾上町、香南町、香川町、塩江町、三木町、牟礼町、庵治町、志度町、直島町です。

## お知らせ②

電友会本部  
評議会を開催

七月七日、第一七回評議会が、京橋会館（東京）で開催され、西本寿恵一本部長（理事）が出席しました。

評議会の主な議題は、①電友会第八回評議会について、②NTTの再編成に伴う電友会組織の見直しについて、③平成九年度ボランティア関係行事等について等々でした。

続いて開催された第八回評議委員会には、西本本部長の他に、愛媛から穴吹義教、日高達一、また、香川から黒田一茂の各評議員が出席して、①平成八年度事業報告、②平成八年度収支計算書、③平成九年度事業計画（案）、④平成九年度収支予算（案）等々を審議し、これらを承認しました。

なお、会議終了後、「NTT再編成の現状について」と題して、NTT代表取締役副社長、井上秀一氏の講演会が開催されました。

この講演で使われました資料は、既に各県支部の事務局へお届けしてありますが、その一部を四二ページに掲載しておりますので、ご参照願います。

## 電友会本部・事務局長会議

八月二十七日、第一〇回事務局長会議が、電友会本部（NTT新宿本社ビル）で開催され、事務局長の愛原章が出席しました。

議題は、①NTT再編成に伴う電友会組織の見直しについて（準備委員会の設置等）、②マルチメディア普及のための取組状況、③運営補助費の支援助時期等について、④電友会の二つの団体保険の加入状況等について、⑤NTTとの協力関係について等々でした。

なお、マルチメディア関係につきましては、七月号の「お知らせ」欄にも書いておきましたが、事務局やOBサロンに設置して頂いたパソコンを活用する等して、OBもマルチメディアを理解し、その普及・販売（INSネット64の販売）に尽力したいと考えています。

## 電信電話工事協会賞を受賞

去る六月十九日、永年にわたり電信電話工事に尽力され、電気通信設備建設業界の発展に寄与されたご功績により、左記の方々に対して、(社)電信電話工事協会（村上治会長）から、電信電話工事協会賞が贈られました。

本田實様（松山市）、加藤省三様（松山市）、高津寛様（松山市）

## 父君が書かれた記事を書き希望される方

今回、年譜作成に際しまして、第二号から（第一号は、色々手を尽くして探してみましたが、残念ながら何処にも見当たらず、幻の一号となっております）第九号までを、繰り返し読ませて頂きました。

既に、故人となられているケースが多いと思いますが、父君の原稿を希望される方がございましたら、四国地方本部の事務局までご相談下さい。

一〇〇号発行を記念して、お探しいと思います。

会報のバックナンバーを  
お求めになりたい方

第七五号（平成三年七月発行）から後の番号で、お求めになりたい番号のものがございましたら、四国地方本部の事務局へ、ご相談下さい。

既に在庫がなくなっている番号もありますが、お探ししてお送り致します。

## 電友会の二つの保険について

## ○団体傷害保険

会員又は会員の家族であれば、年齢に関係なく加入できます。

保険期間は、四月からの一年間で、現在、加入数は全国で二八九七名、四国で三三三名です。まさかのケガ（転倒、転落、交通災害等）にワイドな補償付きということになっております。

一月号で、募集させて頂きます。

## ○生命・傷害セット保険

満七五歳までの方であれば、何時でも契約できます。（告知書に記入して頂くだけで、医師の診察は不要）

保険期間は五年で、五年毎に契約を更新する必要があります。また、保険料は一括払いでも年払いでOKです。

現在、加入数は全国で七五〇名、四国で四七名です。詳しくは日比谷会（募集代理店）にご相談下さい。

〇一二〇一一八二六五（無料）

俳句

夭折の兄偲びつつ墓洗う  
 しろがねの白山窓に加賀は初夏  
 闇を裂き闇にちりちる大花火  
 唐国の古戦場とや花魁草  
 花火果て仁淀川の月の中天に  
 時化近し巢山に急ぐ日暮鳥  
 片道の切符を握る枯木立  
 パソコンに父の遺稿や蝉しぐれ  
 歎声のひとときわ高く西瓜割れ  
 一人居のメニューとなりし冷奴  
 澎湃と雲湧き出づる夏野かな  
 ふる里の名水届き西瓜食む  
 明易し仕事の悩みなお持ちて  
 牛蛙人恋しくて山の寺  
 ほうほうと山鳩のなく炎天下  
 御利益は奪ひとるもの夏祭  
 梧桐やよさこい祭の棧敷組む  
 スカートのフリル豊かに初夏の風  
 鯉はねる向ふに伊予の小富士かな  
 空蝉の足しっかりと幹を抱く  
 水音も昼寝の中の景色かな

鳴門 青山 金治  
 高松 赤井 唯好  
 松山 穴吹 義教  
 新居浜 一色 房子  
 伊野 井上すみ子  
 伊野 井上 広次  
 徳島 猪本清代子  
 高知 池内 寿子  
 高松 池田 治豊  
 松山 上田 敏春  
 松山 梅本 安則  
 松山 越智 恒夫  
 松山 越智 トミ  
 徳島 大杉 洋子  
 高知 大田 佳代  
 松山 大西 泰介  
 高知 大西 正澄  
 徳島 岡 球子  
 松山 岡内 傳  
 高知 岡崎 花子  
 徳島 角野 陳明

曼陀羅に顔近づけて隙間風  
 掃苔やぬくもりを手になぞりつつ  
 六十歳の停年若いぞ雲の峰  
 帆走や一息つきて沖膾  
 帰省娘も去にて庭木に水をやる  
 蝉の声止めば川音もどりけり  
 ひぐらしが鳴いて別れの刻がくる  
 水番の月ゆれやめば顔上げて  
 歳月に消えし色町芙蓉咲く  
 飽食の世に永らえて原爆忌  
 かはりなき診たてつづくや鰻食う  
 百年てふ幹修理実梅なる  
 こほろぎやねやの中までござさうろう  
 洞道は釈迦の胎内滴れる  
 ひまわりや仲良し園児のならば如  
 かなかなの声の降り込む露天風呂  
 山門をくぐれば大樹蝉時雨  
 慣はしの蛸市に買ひ盆用意  
 切結び水をかすめて夏燕  
 歴史刻む廃校の碑や萩の花  
 蓮ひらく高さに朝の霧ながる  
 遠き日となりし彼の日も蝉しぐれ  
 川べりに夕風誘ふ芒の穂  
 巻き上ぐる簾に岬の鳥賊火ふと

徳島 加茂 陽子  
 観音寺 兼松 政人  
 高松 河端 豊  
 松山 北 哲朗  
 今治 久保田 元  
 松山 来嶋 幸雄  
 伊予 後藤 博  
 鴨島 後藤田文枝  
 新居浜 近藤貴美子  
 松山 佐々木 猛  
 松山 坂口 好繁  
 八幡浜 鈴木マヌエ  
 脇町 曾我部清巳  
 松山 高本 隆之  
 高松 竹内 正  
 伊野 竹山 律  
 高松 谷條 昭平  
 新居浜 田中美佐子  
 松山 垂水 秀夫  
 松山 田和 政勝  
 高松 土居松太郎  
 松山 寅岡 英雄  
 鳴門 中島 和子  
 宇和 中村 節也



ふみ入れれば萩の風あり箒の目  
 四万十川の若葉が抱く鳥の声  
 峰雲や扁額古りし守礼門  
 朝顔にまだ覚めきらぬ顔洗う  
 朝風に晩稲きらきら花覗く  
 水門を全開にする芒種より  
 萩ゆれて不動明王石の彫  
 門先の松を濃くせり初月夜  
 蓮観会音なき音にすまず耳  
 一〇〇号を寿ぐ黄菊活けもして  
 身に沁むや魚嫌ひの魚釣る  
 手鋏の芝生刈る日や古稀の夏  
 秋桜揺れて焦点の定まらず  
 葛の花義経通る通らぬと  
 鷺草の群れ立つ羽を整ふる  
 母と子のさし手に翳す盆踊  
 凌霄の炎さましの通り雨  
 桜門の脚に空蟬一遍忌  
 波乗りの涛をくぐりて現れにけり  
 障害児団扇づくりの和紙染める  
 峡谷の宿の湯船に河鹿聞く  
 一日の命真白に沙羅の花  
 水底の魚影素早き晩夏かな  
 新涼や試歩に寄り添ふ影法師

徳島 中山 孝子  
 高松 中山 忠彦  
 松山 仲谷 昭  
 徳島 長島 正行  
 徳島 原 重雄  
 徳島 原田 昭  
 鴨島 原田 厚子  
 徳島 日開兎喜子  
 高松 東原シズ子  
 松山 平松 孝男  
 松山 藤田 利夫  
 松山 藤田 弘  
 松山 二神 三郎  
 徳島 堀江 邦子  
 松山 松末 親則  
 高知 松村 郁子  
 三本松 三井 昭  
 松山 光宗 幸男  
 鴨島 溝淵 匠  
 松山 村上 久子  
 阿南 森 駿二良  
 松山 森 常夫  
 高知 安村 淑  
 鳴門 山田 隆泰

夫といる長き堤や虫しぐれ  
 声尽きし蟬のむくろの軽さかな  
 動く灯も瀬戸の夜涼を誘ふ景  
 紅葉狩沢に梯子を渡しあり  
 夕涼し風の見え来し庭の竹  
 海月浮く岸辺に傘のすててあり  
 倒木に苔生む溪の音涼し  
 日々楽し蜜柑色づき初めしより

鳴門 山田 昌代  
 徳島 湯村 眞三  
 坂出 横田 浩  
 徳島 吉岡 由子  
 徳島 吉田ふじ子  
 徳島 吉村 久子  
 徳島 和田 借子  
 壬生川 渡辺 蔵雄

川柳

千振が髪に効くとはイガイなり  
 淋しいな入園料が只になり  
 残業に月がお供の終風呂  
 闇にさまよいカラスが蛍ふ山が哭く  
 デジタルについては行けぬアナログ派

松山 愛原 章  
 高松 香西ツル子  
 高松 竹谷 政夫  
 高松 森安 文子  
 今治 矢野 功

川柳



テルウェルだより

あんしんライン

あんしんラインはNTTからの受託事業で、開設以来様々なご相談に応じています。

ご相談はフリーダイヤルで、全国各地からでも着信人払いであり、通話料の心配もなく相談できるシステムになっています。

相談内容も、健康・介護や育児・子育てなどであれば、ご自身のこと、ご家族やお子さん・お孫さんのことなど、お気軽にご利用下さい。勿論、プライバシー保護もバッチリです。

なお、ご相談受付時間は、月曜日から金曜日（祝日を除く）の午前九時から午後四時までとなっております。

〇一二〇―四六一五一九二

OBサークル等

今日も元気に活躍

徳島営業所では、NTTOBが活躍している、各OBサークルや四つのボランティアグループの代表者二十七名を一同に集め、「サークル代表者等の打合せ会」を開催しました。

席上、各代表者は、NTTOBサークル等相互間の親睦とコミュニケーションを図り、各サークルやグループの活動の強化・発展に、互いに尽力すること等を決めました。

テルウェル徳島営業所からは後藤田所長らも出席し、テルウェルの社会福祉事

業の現状や、OBセンター事業などを紹介し、今後ともお互いに元気で、活動の活性化に向け努力しあうことを誓いました。

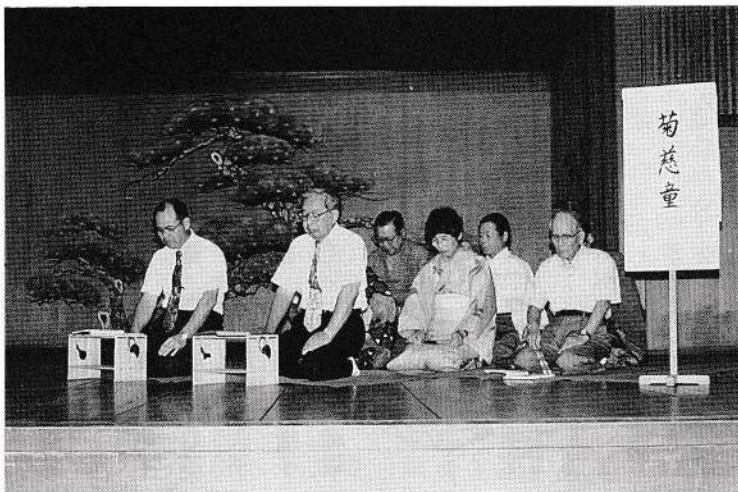


勝謡会

ゆかた会で日頃の成果を発表

OBサークル「勝謡会」（畑野節夫会長）は、数多いサークルの中でも活動内容はもとより、サークル結成が昭和三〇年と古く、歴史を刻んだサークルであり、節々では、日頃の成果を発表しあっていますが、去る八月一六日

（日曜日）、毎年夏、恒例となった「ゆかた会」と称する発表会を、松山市民会館能楽堂において朝一〇時に開催し、午後五時半までかけて発表しました。勝謡会では、有田幸久さん（観世流師範）の指導で、「謡曲の修練を通じ、会員相互の親睦を図る」を目的に、会員は謡曲や仕舞いを、OBサロン「かつやま」等を利用して定期的な、みっちり稽古を積んでおり、この成果を披露する場としての発表会でもありました。



● **ショートステイ及びデイサービス業務** ●

居宅において寝たきりのお年寄り等を介護されているNTTグループ社員等および退職者等のみなさまの負担を軽減する施設として、愛媛県松山市にショートステイ「テルウェル愛松園」があります。

病気・出産・介護疲れ等の場合、都合に応じ、ショートステイ（短期利用）、ミドルステイ（中期利用）、デイサービス（通所利用）をご利用いただいております。



ショートステイ「**テルウェル愛松園**」

所在地	〒790 愛媛県松山市喜与町1-8(N T T松山病院前)		
電話	(089)934-3700		
利用対象者	N T T等の社員および退職者とその家族で、おおむね65歳以上の寝たきり老人等。		
利用料金	短期利用（ショートステイ）、中期利用（ミドルステイ）（1日あたり・3食付）		
	生活介護世帯		3,000円
	N T T等社員・退職者・老親		5,000円
	一般利用		7,000円
通所利用（デイサービス）		1回	1,000円
利用期間	1日から3ヶ月まで		
利用手続	利用申込書を施設長に提出		

価値ある施設「愛松園」  
私達の施設です。価値ある施設を有効に利用して、うるおいと安らぎのある日々をお過ごし下さいますよう、ご案内させていただきます。



会報に見るテルウェルの動き

- 昭和四八年 四月、医療共済制度発足。
- 昭和五一年 退職者並びに遺家族に対する生活援助制度を紹介。
- 昭和五三年 四月、退職者文化活動援助事業開始。電電OB大学（園芸科）を開講。
- 昭和五四年 四月、医療共済制度を改正し、共済組合の任意継続加入者との関係を調整。

昭和五五年

ボランティア活動の育成と、組織化への取り組みを開始。

昭和五六年

五月、退職者談話室「ともがき荘（松山市）」を開設。

昭和五七年

四月、電電OB大学（教養科）を開講。

昭和五八年

松山地区のサークル代表者（九名）らと県立清流園を訪問。ボランティア活動推進のための施設見学を実施。

昭和五九年

共済組合任意継続組合員制度の発足と、通信病院の一般開放により医療共済制度の加入者減少。（六一年四月、医療共済制度廃止）

昭和六二年

一月、「ともがき荘」を松山市松前町二丁目へ移転。

昭和六三年

四月、「ともがきダイヤル」テレホンサービスを開始。

平成二年

「ともがきダイヤル」テレホンサービスをフリーダイヤル（無料）に変更。

〇一〇一四七―二九四一

平成三年

四月、支部及び営業所にケースワーカーを配置し、「福祉の相談窓口」電話を設置。

退職者談話室「ともがき荘」をNTT OBサロン「かつやま」としてスタート。

NTT OBサロン「びざん」を徳島市

に開設。

○平成五年  
一月、NTTOBサロン「たまも」を高松市へ開設。

○平成六年  
八月、NTTOBセンタを開業。

○平成八年  
四月、NTTOBセンタ業務を四国全県へ拡大。

○平成九年  
四月、ケースワーカーの呼称をライフコンサルタントに変更。

○愛媛担当 田中 光好  
○香川担当 山田 蕃  
○徳島担当 堤 高数  
○高知担当 西岡 徳頭

○愛媛担当 〇八九一九三四一七三三五  
○香川担当 〇八七二八二二一五一五一  
○徳島担当 〇八八六一五二一六三二〇  
○高知担当 〇八八八一八三三四一四一

○平成九年  
四月、ケースワーカーの呼称をライフコンサルタントに変更。

○愛媛担当 田中 光好  
○香川担当 山田 蕃  
○徳島担当 堤 高数  
○高知担当 西岡 徳頭

○愛媛担当 田中 光好  
○香川担当 山田 蕃  
○徳島担当 堤 高数  
○高知担当 西岡 徳頭

編集後記

▼平成八年一月の第四回編集委員会において、第一〇〇号を「記念号」として発行する計画(案)を打ち合わせました。当初、資金計画が最優先課題となっておりましたが、NTT、NTTグループ企業、そして関連企業等の皆様方の援助により、ここに「記念号」を発行することができましたことを、関係者一同、心からお礼を申し上げます。

▼また、ご多用中のところを、原稿執筆にご協力頂きました皆様方には、まことに有り難うございました。

お蔭様で、第一〇〇号が発行できますことを、編集委員会のメンバー一同、深くお礼を申し上げて、今後一層のご指導を、お願い申し上げます。

▼「年譜」の疑問点の解明や創刊号探しには、水野輝穂氏、長谷川茂氏等にご協力を頂きました。

「お知らせ(2)」欄でも触れましたが、会報第一号は、昭和四六年五月に発行されたものと推定しておりますが、現在、幻の第一号ということで、残念ながら手元がありません。

どなたかお持ちの方がございましたら、是非、写しをとらせて頂けないかと思っております。

▼過去の出来事を記録に止め、これを整理し、保存しておくことが如何に重要かということ、第一〇〇号の編集に当たって痛感致しました。

▼西村正様と玉川邁様には、原稿を頂い

ておりましたが、編集途中で亡くなられました。

過去に会報の編集を手掛けられた玉川様には、お尋ねしたいこともありましたが、残念に思います。謹んでご冥福をお祈り致します。

▼最後になりましたが、この四国電友会会報が、第二〇〇号へ、第三〇〇号へと永く続いて行きますことを、編集委員会メンバー一同祈念してやみません。

\*編集委員会メンバー

- 西本寿恵一 鹿庭 英世
- 中井 正明 安芸 忠義
- 安部 孝 窪田 剛介
- 穴吹 義教 松本 良雄
- 芳野 運 愛原 章

原稿募集

- 一 近況短信(二百字程度)
  - 二 短歌、俳句、川柳
  - 三 サークルの活動状況等(写真可)
- 切は一月末日です。会員多数からの投稿をお待ちしています。

四国電友会会報 第一〇〇号

平成九年一月一日

編集発行 電友会四国地方本部

松山市一番町四ノ三

NTT四国支社内

電話(〇八九九六一)三三三

印刷 NTT四国電話帳株式会社

〔年譜〕

## 四国電友会の歩みと電信電話事業の動き

年	四国電友会の歩み	電信電話事業の動き
37年	10月 愛媛電友会、電電徳島温古会、高知電電社友会発足。 12月 香川電友会発足。	8月 公社発足10周年。 9月 距離別時間差法、単位料金区域制、ダイヤル市外通話の夜間割引制等、新電話料金制度実施。 四国電電ビル完成。 *自動改式局 2月：今治、4月：鳴門、10月：大洲、内子
38年	9月 初の会員名簿「四国電気通信局管内退職者の会（規約及び名簿）」によれば、会員数250名（愛媛106名、香川61名、徳島42名、高知41名）。	7月 全国の電話500万加入突破。 四国電気通信工作所、八幡浜から松山へ移転。 12月 脅迫電話の逆探知及び録音は適法（法制局見解表明）。 *自動改式局 4月：南国 6月：安芸 8月：宿毛 9月：伊予三島、川之江
39年	10月 愛媛電友会、第3回総会において、通信退職者恩給年金改善期成会への加入について審議。加入形態（個人又は団体）については、期成会本部へ照会のうえ検討することを決定。	1月 有線放送電話接続通話サービス開始。 10月 四国で市外案内簿を発行。 11月 新野東、多田に四国初の農村集団自動電話開通。 *自動改式局 4月：三本松 11月：丸亀
40年	8月 愛媛電友会、中予役員会において、通信退職者恩給年金改善期成会への加入については、四国4県の各退職者の会に諮り、賛同を得たので四国連合会として加入する旨報告。	3月 松山(湯山)で、四国初の市内局番2桁化実施。 6月 列車公衆電話サービス東海道新幹線で開始。 12月 四国の電話20万加入突破。 *自動改式局 1月：琴平、土佐山田、赤岡 11月：阿南
41年	10月 「四国電気通信局管内退職者の会（規約及び名簿）」によれば、会員数375名に増加（愛媛148名、香川97名、徳島58名、高知72名）。	4月 C400形クロバ交換機商用開始（西大森局）。 6月 大形赤電話サービス本実施。本格導入開始。 7月 全国電報中継機械化完了。 *自動改式局 2月：多度津 3月：長尾 4月：八幡浜、宇和島、伊予吉田 5月：伊予 9月：田野 10月：須崎、伊野
42年	7月 通信退職者恩給年金改善期成会解散。	4月：10年後の電信電話のビジョンを発表。 8月：全国県庁所在地都市相互間の自動即時化完了。 10月：円座団地に四国初の団地自動電話を設置。 *自動改式局 2月：北条 3月：室戸、脇町 11月：善通寺
43年	1月 通信退職者恩給年金改善期成会が解散したため、愛媛電友会会長の泉節太郎氏が電電千代田会会長の辻正氏に、電電関係退職者の全国的組織結成の必要性を強調。 3月 松山電信電話会館において、電電公社退職者	4月 全国の電話1千万加入突破。 8月 電信電話拡充第4次5ヵ年計画を発表。 10月 四国の電話30万加入突破。 *自動改式局 1月：小松島 2月：阿波池田 3月：土庄、内海

年	四国電友会の歩み	電信電話事業の動き
43年	<p>の会の各県の会長協議会を開き、次の事項を決定。</p> <p>(1)電友会四国連合会を結成すること。(43年4月1日発足のこととする)</p> <p>(2)電電公社退職者団体連絡会に加入すること。</p> <p>4月 四国各県の電電公社退職者の会、電友会四国連合会を結成。初代連合会長に泉節太郎氏就任。会員数434名。電電千代田会(電電公社退職者団体連絡会を主催)に加入。</p> <p>7月 愛媛電友会、愛媛電気通信部庶務課から会務の引き継ぎを完了。電気通信共済会四国支部内に事務所を開設。</p>	<p>5月：窪川 7月：土佐清水 10月：宇和 11月：佐川</p>
44年	<p>11月 この5月に結成された日比谷同友会の呼び掛けにより、電電公社退職者団体連絡会が開催され、泉連合会長が出席。</p>	<p>10月 公衆電話の3分打切を制度化。 ボックス公衆1千台目を三坂峠に設置。</p> <p>*自動改式局 2月：土佐 3月：久万、板野 10月：石井 11月：御荘、丹生谷</p>
45年	<p>2月 各地方の退職者団体の代表者による全国連合会発会式が開催され、泉連合会長が出席。</p> <p>4月 電電公社退職者団体連絡会を発展的に解消させて、電電公社退職者団体連合会(略称：電退連)が発足。電友会四国連合会これに加入。</p> <p>5月 電退連、第1回総会を開催。</p> <p>12月 愛媛電友会、事務所を松山市二番町の電気通信会館1Fに開設。</p>	<p>6月 世界初のLSI開発に成功。</p> <p>9月 電信電話7ヵ年計画を発表。 徳島県下の電話10万加入突破。</p> <p>10月 香川県下の電話10万加入突破。 創業100年(電信100年、電話80年)記念行事開催。</p> <p>*自動改式局 7月：日和佐、牟岐 8月：讃岐三木、阿波勝浦 11月：伯方</p>
46年	<p>1月 電友会四国連合会としての会報を発行することになり、愛媛電友会から会報発行業務を引き継ぐ。(愛媛電友会会報第13号を発行：最終号)</p> <p>5月 四国電友会会報第1号(創刊号)を発行。</p> <p>11月 四国電友会会報第2号を発行。</p>	<p>3月 全国の加入電話積滞数291万。</p> <p>6月 四国初の事業所集団電話(セントレックス)を伊予鉄本社ビルに設置。</p> <p>7月 四国の電話50万加入突破。</p> <p>*自動改式局 1月：嶺北杉 ☆12月：全国の直営局自動改式完了。</p>
47年	<p>9月 電友会四国連合会第1回総会を、松山電信電話会館において開催。</p> <p>11月 四国内の宿泊施設が職員に準じる扱いで利用</p>	<p>2月 愛媛県下の電話20万加入突破。</p> <p>4月 住宅用電話の比率が50%を超え、四国の事業収支は赤字に転落。</p>

年	四国電友会の歩み	電信電話事業の動き
47年	<p>可となる。</p> <p>電退連、全国の保養所及び宿泊施設の利用について、本社へ陳情。</p>	<p>5月 琉球電信電話公社の業務を継承。</p> <p>ホームテレホンを全国一斉に発売。</p> <p>6月 全国の電話2千万加入突破。四国の電話60万加入突破。</p> <p>8月 電信電話拡充第5次5ヵ年計画を策定。「すぐつく電話」を目指す。</p> <p>9月 第1回特別でんでん債発行。</p> <p>11月 広域時分制（市内通話3分7円制）を香川で実施。☆48年8月：全国の移行完了。</p>
48年	<p>1月 退職者の医療費軽減策として、1日から公社の医療機関を利用した場合、入院時の診療単価が4円（従来は1点6円）に改正された。</p> <p>（退職時の所属局で受診券の交付を受けること）</p> <p>会報第5号から、題字を「電友会四国連合会会報」に統一。</p> <p>4月 電気通信共済会が社会福祉事業の一環として、医療共済制度を創設。</p> <p>10月 電友会四国連合会第2回総会を、松山済美会館において開催。</p>	<p>1月 営業局・運用局を営業局・業務管理局に再編成。</p> <p>8月 電話ファクスサービスを制度化。</p> <p>10月 公社発足20年を記念して「四国電信電話事業史」を作成。</p>
49年	<p>2月 電友会四国連合会と愛媛電友会の事務局を、電気通信会館から松山市1番町の通信局付属庁舎3Fに移転。</p> <p>3月 全国の保養所が職員と同じ条件（メンバー扱い）で利用可となる。</p> <p>7月 会報第7号から表紙に荘野会員の日本画を採用。</p> <p>電電公社退職者団体の統一マークの寸法等と会員用バッジの見本を会報に掲載。</p> <p>10月 電友会四国連合会第3回総会を、徳島市阿波観光ホテルにおいて開催。</p>	<p>2月 松山地区でポケットベルサービス開始。</p> <p>四国通信局の付属棟完成。</p> <p>3月 松山で四国初の販売在庫管理サービス開始。</p> <p>4月 電話ファクスの販売開始。</p> <p>5月 愛媛県下の電話30万加入突破。</p> <p>9月 香川県下の電話20万加入突破。</p>
50年	<p>4月 電退連発足5周年。</p> <p>全国の公社宿泊施設が職員に準じて利用可となったことを、会報第10号に掲載。</p> <p>10月 電友会四国連合会第4回総会を、高知市電気</p>	<p>1月 料金改定問題が見送りとなり、初の赤字予算を編成。</p> <p>本社組織に合わせて、四国電気通信局の営業部・運用部を再編成し、営業部・業務管理部を設</p>

年	四国電友会の歩み	電信電話事業の動き
50年	ビルにおいて開催。	置。 3月 高知県下の電話20万加入突破。 8月 全国の電話3千万加入突破。 9月 四国の電話100万加入突破（公社発足時の電話が5万4000加入）。 10月 松山電信電話料金局開局。料金事務の電算化開始。
51年	1月 四国電気通信学園の「うるおい文庫」と「四国の電気通信歴史館」創設への協力依頼の呼びかけを、会報第13号に掲載。 10月 電友会四国連合会第5回総会を、高松市川六旅館において開催。	1月 徳島県下の電話20万加入突破。 2月 松山にプッシュ式公衆電話の第1号設置。 3月 加入電話等の1万円未満の料金について日割計算廃止。 50年度末における累積赤字4千600億円。 愛媛県下の電話40万加入突破。 7月 シルバーホン「あんしん」の販売開始。 11月 電報電話料金改正法案が成立。電話基本料は2倍（年度内は1.5倍）、ダイヤル通話単位料金を10円、設備料を8万円に改正。また、通常電報は2倍、慶弔電報を3倍に改正。
52年	5月 四国の会員数1千名（愛媛429名、香川252名、徳島152名、高知183名）突破。 9月 昨年8月の第17回債以降、四国の会員による「でんでん債」消化額が2億円に達した。	1月 シルバーホン「めいりょう」のサービス開始。 4月 電話使用料（基本料）を第2段階（2倍）に改正。 8月 公社発足25周年（加入電話、全国3千400万、四国120万）。
53年	4月 各県の退職者の会が四国連合会に納入する会費（1人当り年額100円）を200円に増額。 5月 日比谷同友会創立10周年記念式典が東京商工会議所ビル国際会議室で開催され、泉連合会長が出席。	3月 長年の懸案であった加入電話の積滞解消。香川県下の電話ダイヤル化100%達成。 4月 第6次5ヵ年計画は“量から質へ” 7月 徳島県下の電話ダイヤル化100%達成。 10月 高知県下の電話ダイヤル化100%達成。 11月 魚神山局（愛媛県）を最後に、四国の電話ダイヤル化100%達成。
54年	1月 通信局付属棟3階に「電電OB談話室」がオープン。 電友会四国連合会と愛媛電友会の事務所を、「電電OB談話室」の隣室（現在の電話局側）へ移転。 11月 54年度第3回理事会において、総会に出席す	3月 全国の電話ダイヤル化100%達成。 4月 香川県下の電話30万加入突破。 12月 四国電気通信局構内に、全国ダイヤル自動化100%完了の年に当り、四国の電信電話事業発展の礎となり職務に殉じられたかたがたの功績を永く後世に伝えるため、「慰霊の碑」を建立。



年	四国電友会の歩み	電信電話事業の動き
54年	る代議員の選出基準を30名につき1名に変更(20名につき1名であった)。	
55年	4月 会報第30号を発行。	11月 夜間割引の拡大・深夜割引制度の導入。 四国に100円赤電話登場。
56年	5月 松山に退職者談話室(ともがき荘)オープン。	2月 四国のポケットベル4万加入突破。 8月 500kmを超える遠距離通話料金の値下げ・日曜、 祝日割引の導入。 10月 愛媛県下の電話50万加入突破。 12月 全国の電話4千万加入突破。
57年	2月 四国の会員数1千529名(昭和生まれ10.4%)。 4月 保養所等の利用に便利な「電友会四国連合会 会員証」の発行を開始。(現在はこれに変わ て「電友会会員証」を発行している) 5月 電友会四国連合会、第11回総会において、I N Sの映画を上映(約40分)。	5月 四国のホームテレホン10万台突破。 7月 5年以内に電電公社を分割・民営化するよう、 臨時行政調査会が政府に答申。 8月 公社発足30周年(加入電話、全国4千万、四国 140万を突破)。 9月 高松通信病院を一般開放。 10月 データ通信回線の自由化実施。 松山通信病院を一般開放。
58年	11月 電退連の統合反対陳情にもかかわらず、共済 年金統合法案が参議院本会議で可決・成立。	2月 四国の料金計算事務電算化完了。 3月 松山～高松間で、四国初の光ファイバーケー ブル建設工事を開始。 4月 電信電話拡充法廃止(加入者債券引受制度の廃止)。 5月 松山電話局へ四国初のデジタル交換機(D70) を搬入し、設置工事を開始。 6月 松山でF網サービス開始。 7月 320kmを超える遠距離通話料金の値下げ実施。 11月 カード公衆電話の設置始まる。
59年	5月 四国の会員数2千名(愛媛930名、香川500名、 徳島270名、高知350名)突破。 11月 電友会四国連合会、第3回理事会において、 民営化がすすめられている公社への対応につ いて協議。	3月 松山・高松地区で自動車電話サービスを開始。 「さくら2号」を利用する準ミリ波車載局を、 松山山越統無中に配備。 4月 電電改革3法案国会へ。 7月 中距離通話料金の値下げ実施。 12月 電電改革3法案が国会で可決・成立。
60年	2月 電友会四国連合会、第4回理事会において、 日本電信電話株式会社発足後の会の在り方を 協議。 4月 会報第50号発行。	3月 通信局構内に「四国I N Sプラザ」オープン。 4月 日本電信電話(株)発足。通信局は総支社、通信部 は支社と改称。 本電話機を自由化。 N T T最初の子会社、N T Tリース(株)誕生。 12月 四国総支社、事業部制を導入。
61年	8月 第15回電友会四国連合会の総会において、会 長の泉氏が退任し、副会長の赤羽正氏が連合	3月 キャプテンサービスを松山地域へ導入。 四国管内の116番(注文受付番号)工事が完了。

年	四国電友会の歩み	電信電話事業の動き
61年	会長に就任。	6月 毎月19日を「トークの日」として設定。 7月 60kmを超える市外通話について土曜日割引制度を実施。 四国初の子会社、(株)NTTバステル誕生。 松山でフリーダイヤルサービス開始。 9月 四国総支社、旧国鉄職員を20名採用。 四国の自動車電話1千台突破。
62年	6月 電退連第18回総会を京橋会館において開催し、泉氏の後任理事として赤列連合会長を選任。	2月 NTT株、東京、名古屋、大阪の各証券取引所に上場。 3月 四国全域に新電報そ通システム(TXAS)を導入。 4月 NTTオートリース(株)、四国支店を開設。 7月 フリーダイヤル(0120)サービスを四国全域に拡大。 9月 NTT、NCCと電話サービスに関する相互接続開始。 11月 NTT四国テレコンサービス(株)を設立。
63年	6月 四国の会員数3千名(愛媛1291名、香川769名、徳島455名、高知531名)突破。	4月 ベストサービス運動を展開。 6月 (株)NTTテレコムエンジニアリング四国を設立。 7月 データ通信事業をNTTデータ通信(株)へ譲渡。 10月 松山、高松、徳島、高知等8局で、料金明細内訳サービス開始。 NCCが高松にPOI設置。 12月 宇和島に電話番号案内システム(ANGEL)導入。
元年	4月 会員バッジの模様変更に伴い、新会員証を作成。 5月 第18回電友会四国連合会の総会において、会長の赤列氏が退任し、副会長の六車美一氏が連合会長に就任。 11月 電退連第2回理事会を飯田橋会館において開催し、電退連の組織化(一本化)等、電電OB団体の在り方について審議。	4月 支社(旧通信部)を廃止して、本社一四国支社一電話局等の3段階組織とするとともに、電話局等を支店又は営業所と改称。 6月 NTTリース(株)、四国支店を開設。 9月 NTTアセットプランニング四国(株)を設立。 高松地区でISDNサービス開始。 10月 松山、徳島、高知の各地区でISDNサービス開始。 電話100年記念事業の実施を発表。
2年	4月 1日、電退連を改組して電友会発足。 16日、電退連第21回総会並びに電友会第1回理事会において、電退連の改組、新生電友会の発足を承認。	7月 四国支社、1支社13PU(支店)体制及びタスク化完了。 11月 電話料金請求書封書化を実施。 12月 番号案内の有料化を実施。 全国の自動車電話・携帯電話50万台突破。 四国セルラー電話株が移動体事業に参入。
3年	4月 松山、徳島にOBサロンオープン。 9月 「電友会ボランティア活動賞」候補の推薦開始。 10月 電友会会員専用の生命・傷害セット保険がスタート。	3月 近・中距離通話料金の値下げ実施。深夜割引時間帯の拡大実施。 8月 四国の自動車電話・携帯電話1万台突破。 高松、松山に次いで徳島にもNCCがPOI設置。

年	四国電友会の歩み	電信電話事業の動き
3年	11月 高松にOBサロンオープン。 12月 高知にOBサロンオープン	10月 ㈱NTTファシリティーズを設立。 11月 NTT四国移動通信網㈱を設立。
4年	4月 電友会四国連合会を「電友会四国地方本部」と改称。 電友会会員専用の団体傷害保険がスタート。 7月 会報第79号から題字を「四国電友会会報」に変更。 8月 四国の会員数3千500名(愛媛1454名、香川928名、徳島526名、高知605名)突破。 10月 会報第80号を発行。 NCC(対策)ポケットマニュアルを全会員に配付。	4月 四国ネットワークセンタ発足。 「テレジョーズ」サービス開始。 6月 160kmを超える遠距離通話料金の大幅値下げ実施。 7月 自動車電話・携帯電話・船舶電話・航空機公衆電話及び無線呼出に関する事業をNTT移動通信網㈱へ譲渡。 8月 高知、丸亀にNCCがPOI設置。 11月 四国のフリーダイヤルサービス契約数1万回線突破。 12月 電力及び建築・ビル管理事業を、㈱NTTファシリティーズへ移管。
5年	1月 本部会計規程の全面改正により、支部事務局長会議を開催して事務処理の統一を図る。 4月 第22回電友会四国地方本部の総会を開催。本総会から代議員を40名から50名に増加。 8月 第1回編集委員会を開催し、会報の編集方法、記事の内容等について検討。(過去にも編集委員会はあったが、これを再編成した)	10月 30kmを超える全距離段階の市外通話料金の値下げと距離段階の統合(6段階を4段階へ)。深夜・早朝の割引率を拡大。公衆電話料金も改定。
6年	4月 電友会の新組織発足5周年を記念して、第23回電友会四国地方本部の総会に、地方本部及び各県支部の元会長を招待。	1月 愛媛県下のポケットベル5万台突破(NTTD OCOMO分)。 2月 漢字電報サービス開始。 4月 携帯電話等のお買上制を実施。 6月 ㈱NTT西日本テレカ、四国支店を開設。 10月 NTT四国パーソナル通信網㈱を設立。 12月 四国の営業窓口を35ヵ所に統合・再編。 *統合・再編された営業所 (愛媛)三津浜、山越、久万、宇和、川之江 (香川)三条、讃岐三木、内海、琴平、善通寺、高瀬 (徳島)板野、石井、徳島SS、小松島、阿波勝浦、丹生谷、日和佐 (高知)東、伊野、土佐、土佐山田、赤岡、嶺北、窪川
7年	2月 阪神・淡路大震災による被災地(関西地方本部)へ義援金を贈呈。会員の被災状況は、死傷者が13名、家屋の全半壊等が377件。	1月 淡路島北東部を震源とする巨大地震が発生。交換機の電源故障等により神戸地域では28万5千回線が不通となる。 (注)1月末で概ね電話が使える状態に回復。 3月末までに応急復旧したカ所へ、現地3千人、全国から2万人を動員して、電柱の立替え、ケーブルの張り替え、仮設住宅3万戸への電話設置等、設備の本格的な復旧に全力をあげる。

年	四国電友会の歩み	電信電話事業の動き
7年		<p>被害を受けた加入者系通信ケーブルは約19万3千回線。被災地内の約820ヵ所に設置した特設公衆電話約2千800台。</p> <p>2月 基本料金及び番号案内料金を改定。但し、大震災の被災地に対しては、基本料を2月末まで無料とし、7月末までは現行料金に据え置くことを決定。</p> <p>(注) 被災地としては、災害救助法適用地域及びその周辺地域とした。</p> <p>3月 「テレチョイス」サービス開始。</p> <p>四国のSPC化100%達成。</p> <p>5月 全国の電話6千万加入突破。</p> <p>7月 四国支社、1県1GPU(大支店)化実施。</p> <p>10月 松山、高松、徳島、高知でPHSサービス開始。</p> <p>11月 四国電話印刷㈱、NTTグループ会社となり、社名をNTT四国電話帳㈱と変更。</p> <p>12月 松山地域の市内局番3桁化実施。</p>
8年	<p>4月 第25回電友会四国地方本部の総会において、本部長の六車氏が退任し、副本部長の西本寿恵一氏が本部長に就任。</p> <p>10月 会報第96号から表紙に写真を採用。</p> <p>四国の会員数4千名(愛媛1631名、香川1027名、徳島622名、高知753名)突破。</p>	<p>2月 電気通信審議会、①長距離通信事業の分離、②地域通信事業の東西分割を答申。</p> <p>114番(お話し中調べ専用の番号)を新設。</p> <p>3月 160kmを超える遠距離通話料金の値下げ実施。</p> <p>12月 NTT、純粋持株会社による再編成案を了承。</p>
9年	<p>3月 8年度第2回理事会において、総会に出席する代議員数を検討し、愛媛20名、香川13名、徳島8名、高知10名(計51名)に変更。</p> <p>7月 電友会本部、第17回理事会において、NTTの再編成に伴う電友会組織の見直しについて、組織検討委員会の設置を提案。</p>	<p>2月 100kmを超える遠距離通話料金(平日昼間)値下げ実施。</p> <p>3月 四国のINSネット契約数3万回線突破。</p> <p>4月 四国でOCNサービス本格スタート。</p> <p>6月 NTT再編成に伴う関連3法(NTT法、KDD法、電気通信事業法)の改正案が参議院本会議で可決・成立。</p> <p>7月 愛媛県内の交換機デジタル化完了。</p>

☆電信電話事業の動きにつきましては、会報や「NTT四国」に掲載された記事を中心に、「四国電信電話事業史」、「日本電信電話公社25年史」等を参考にして作成しました。

また、四国電友会の歩みにつきましては、会報や総会資料等から作成しました。

短期間で整理しましたので不備な点も多いと思います。お気付きの箇所等ございましたら、事務局までご連絡頂ければ幸いです。

## 祝 創 刊 1 0 0 号

<p>エヌ・ティ・ティ・オートリース(株) 四 国 支 店</p>	<p>エヌ・ティ・ティ四国移動通信網(株) 代表取締役社長 檜垣 俊彦</p>
<p>エヌ・ティ・ティ四国電話帳(株) 代表取締役社長 永野 泰昭</p>	<p>エヌ・ティ・ティ四国 パーソナル通信網(株) 代表取締役社長 中川 史郎</p>
<p>(株)エヌ・ティ・ティ テレコムエンジニアリング四国 代表取締役社長 野本 佐紀雄</p>	<p>NTTデータ通信(株)四国支社 支社長 山中 孝昭</p>
<p>(株)エヌ・ティ・ティ ファシリティーズ 四 国 支 店</p>	<p>NTTプラザ松山 電話(089)-924-6100</p>
<p>(株)カ ナ ッ ク 代表取締役社長 大西 大介</p>	<p>共立建設(株)四国支店 取締役支店長 古山 郁夫</p>
<p>(株)協和エクシオ松山営業所 営業所長 菊地 伸明</p>	<p>四 国 整 備 (株) 代表取締役社長 黒田 伊佐雄</p>

(アイウエオ順)

## 祝 創 刊 1 0 0 号

四国タウンペーシアド(株) 代表取締役社長 江口 浩	四 国 通 建 (株) 代表取締役社長 澤村 靖弘
四 国 通 信 産 業 (株) 代表取締役社長 田中 一馬	(財)電気通信共済会四国支部 支部長 藤野 統夫
(株)電信電話工事協会四国支部 支部長 澤村 靖弘	(株)東電通松山支店 理事松山支店長 首藤 隆
徳 島 通 信 建 設 (株) 代表取締役社長 久保 尚洋	日本コムシス(株)四国支店 支店長 日野 清
日 本 電 通 工 業 (株) 代表取締役社長 清水 晋	日本メックス(株)松山支店 支店長 遠富 正隆
番 町 会 館 電話(089)-933-5757	日比谷総合設備(株)松山営業所 営業所長 水崎 吉彦

(アイウエオ順)



ひろがるマルチメディア

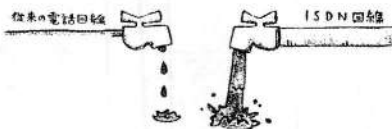


## インターネットするなら「INSネット64」

インターネットを始めると気にかかるのは、時間と費用の問題です。そこで注目されているのがINSネット64です。従来の電話回線は情報の送受信に時間がかかり、その分通信料がかさみます。その点、高速のINSネット64を利用すれば短時間で送受信でき、時間と費用の節約になります。

### INSネット64ってなあに？

INSネット64は、NTTが提供しているISDNサービスで、静止画や動画など容量の多い情報をより高速で送受信できる通信網です。



水道管が太ければ水はたくさん出る。  
それと同じ原理

### INSネット64のメリット

- 64kbit/sの高速デジタル通信で快適にインターネットが楽しめます。
- 高速通信により、通信時間を短縮、通信料金がおトクになります。  
(通信料金は電話と同じ市内3分10円です。)
- もう1本加入電話を増設するより、導入費用・毎月の使用料を比較しても割安です。
- 1回線で2回線分使えるのでインターネットをしながら電話やFAXが使えます。

### INSネット64の料金

- |            |           |
|------------|-----------|
| ●月額基本料     | ●通信料      |
| 住宅用 2,830円 | 従来電話回線と同じ |
| 事務用 3,630円 |           |

※別途消費税がかかります。

お問い合わせ、お申し込みは☎0120-494933

営業窓口：午前9時～午後5時(月曜～金曜)(土曜・日曜・祝日は休業とさせていただきます)

